Panasonic



パーソナルコンピューター 取扱説明書

品番 CF-E1

98



WiLL PC

活用編（本体）

取り扱い・便利・拡張

説明書の構成

取扱説明書

セットアップ編

コンピューターを使うための準備作業について説明しています。また、初めてのかたを対象に、Windows（ウィンドウズ）の基本操作を具体例を通して説明しています。

活用編（本体） 本書

安全上のご注意など、取り扱いやオンラインマニュアルの使いかた、便利な機能、機能の拡張方法などについて説明しています。

活用編（アプリケーション）

インターネットや電子メールの基本操作、動画や静止画の取り込み、DVDビデオディスクの再生など、アプリケーションソフトについて説明しています。

オンラインマニュアル

画面上で表示できるマニュアルです。
オンラインマニュアルの見かたについては、取扱説明書『活用編（本体）』をご覧ください。

困ったときのQ&A

本機が思ったように動かないなど、困ったときの対処法をQ&A方式で説明しています。

パソコン・サポートとつきあう方法

初めてのかたを対象に、お客様のご相談窓口を上手に利用する方法や、コンピューターの専門的な用語・略語などについて説明しています。
（編集：社団法人 日本電子工業振興協会）

内蔵モデムコマンド一覧

内蔵モデムのコマンドを使って通信する場合にご利用ください。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

・取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

ご使用にあたって、本書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。
本製品を安全にお使いいただく上で大切な情報が記載されています。

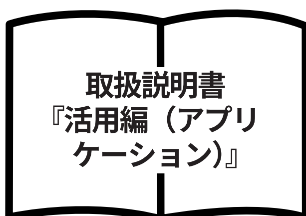
取扱説明書の効果的な使いかた



この説明書では、Windows（ウィンドウズ）をセットアップし、コンピューターを使用できる状態にするまでを説明しています。
初めてのかたは、「Windows 入門」を説明の通りに操作すると、Windows の基本操作を体験でき、下記説明書の内容を理解しやすくなります。



本書では、本機を使用していく上での留意点、各部の働き、便利な設定や周辺機器の拡張など、総合的な内容を説明しています。
オンラインマニュアルの使い方についても、この説明書をご覧ください。



この説明書では、インターネットや電子メール、DVD ビデオの再生などのアプリケーションソフトについて説明しています。
必要に応じて『活用編（本体）』もご覧ください。

コンピューターが思ったように動かないとき  オンラインマニュアル 困ったときの Q&A
取扱説明書『活用編（本体）』困ったときの Q&A

ご相談窓口を利用する前に  オンラインマニュアル パソコン・サポートとつきあう方法

モデムの AT コマンドを使って通信をするとき  オンラインマニュアル 内蔵モデムコマンド一覧

表記の約束

- キーの文字は、説明や操作に必要な文字だけを四角で囲んでいます。
  （例） N/み は N や み と表記します。
- あるキーを押しながら、別のキーを押すときは、次のように「＋」を使って表記します。
  （例） Alt ＋ 半角/全角 ： Alt を押しながら 半角/全角 を押します。
- [スタート]→[Windows の終了]などは、[スタート]をクリックした後、[Windows の終了]をクリックすることを意味します。（内容によっては、ダブルクリックが必要であったり、ポインターを置くだけでいい場合もあります。）

もくじ

ご使用前に

使いかた

必要なときに

困ったときは

ご使用前に

本機をご使用になる前に、知っておいていただきたい「安全上のご注意」や「使用上のお願い」について説明しています。また、「各部の名称と働き」や「DVD-ROMドライブ」についても説明しています。

もくじ

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

本機を改造しない、また、本書に記載のない方法で分解しない



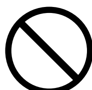
分解禁止

高電圧に注意
本体を分解・
改造しない

[本体に表示した事項]

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

上に水などの入った容器や金属物を置かない



禁止

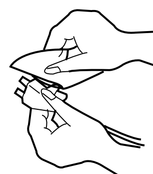


水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

- 内部に異物が入った場合は、すぐに電源を切って電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

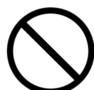




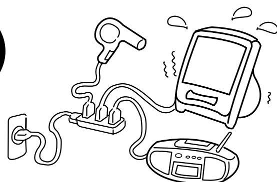
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
  長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない



禁止

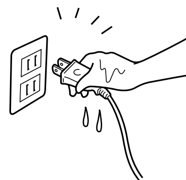


たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



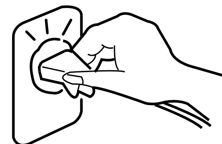
ぬれ手禁止



感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



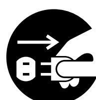


差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

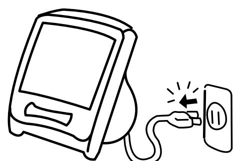
- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠警告

異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く



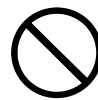
電源プラグを抜く



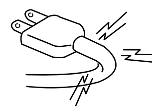
・本体が破損した
・本体内に異物が入った ・異臭がする
・煙が出ている ・異常に熱い
などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
● 異常が起きたらすぐに電源を切って電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）



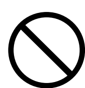
禁止



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠注意

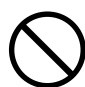
不安定な場所に置かない



禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

炎天下の車中に長時間放置しない



禁止

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる



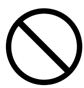
長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

モデムは日本国内の一般電話回線で使用する



会社・事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話のデジタル側コンセントに接続したり、海外で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

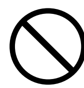
本機の上に重いものを置かない



禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

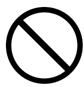
通風孔をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない



禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
● 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



禁止

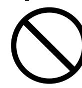
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

電源を入れる前に、音量を絞る



突然大きな音が出て、聴力障害の原因になります。

湿気やほこりの多い場所に置かない



禁止

火災・感電の原因になることがあります。

電源コードは、プラグ部分を持って抜く



電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

DVD-ROM ドライブの内部をのぞきこまない



禁止

内部のレーザー光源を直視すると、視力障害の原因になることがあります。
● 内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。

ひび割れたり変形したりしたCD・DVDは使用しない



禁止

高速で回転するため、飛び散ってけがの原因になることがあります。
● 円形でないCD・DVDや、接着剤などで補修したCD・DVDも同様に危険ですので、使用しないでください。

使用上のお願い

・お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切の責任を負いません。
・本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
・お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失する恐れがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、以下のことに注意してください。

ハードディスクのデータ保護

●ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合（故障・変化・消失など）に備えて定期的にバックアップをとる。
●コンピューターに衝撃を与えない。また、電源が入っている状態でコンピューターを持ち運ばない。
ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやアプリケーションが使えなくなることがあります。コンピューター本体の取り扱いには十分注意してください。
●Windows*やアプリケーションソフトの動作中およびHDDアクセスランプ（ ）の点灯中は、電源を切らない。

ハードディスクについて
大量のデータを保存する装置で本体内部に固定されています。ハードディスクが壊れては大きな損害になりかねませんので、左記の点に十分注意してください。

* 正式名称は、
Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemです。
本書ではWindowsまたはWindows 98と表記します。

コンピューターウィルス

●最新のウィルスチェックプログラム（市販）を入手し、チェックを行う。
特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。
・コンピューターを起動するとき
・データを入手したとき
フロッピーディスクなどの外部メディアから、またネットワーク、パソコン通信、電子メールなどから入手したデータ（圧縮されている場合は、圧縮解凍後のファイル）を使用または実行する前にウィルスチェックを行ってください。

コンピューターウィルスについて
コンピューターのファイルを消すなど悪い影響を与えるように作られたプログラムでインターネットなどを通して次々に感染します。

フロッピーディスクのデータ保護

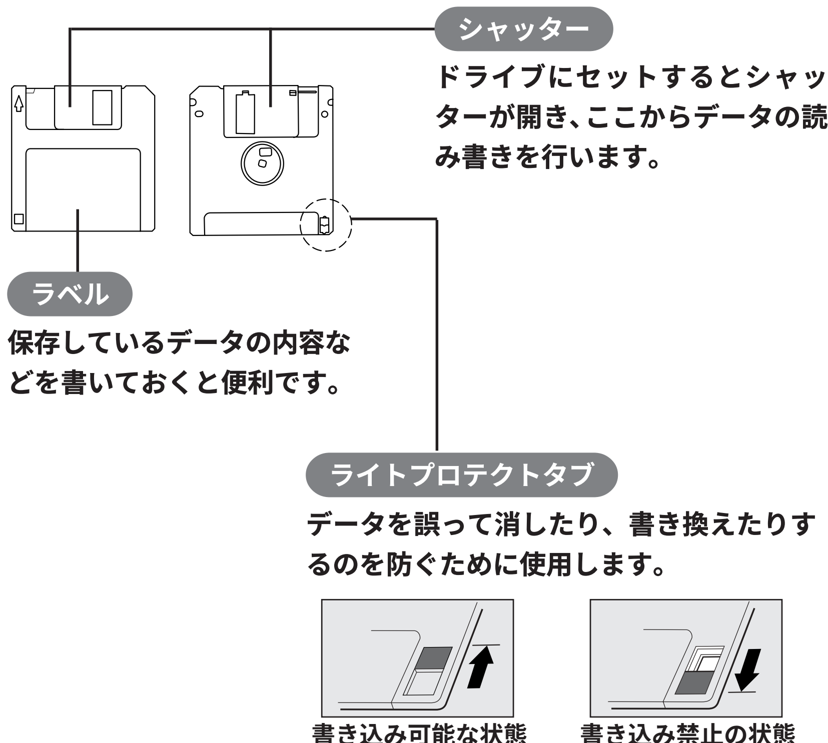
●フロッピーディスクドライブのランプが点灯中に、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブの取り出しボタンに触れたりしない。
フロッピーディスクの破損の原因になり、データやアプリケーションが使えなくなることがあります。

●一度使用したフロッピーディスクをフォーマット（初期化）する場合はその前に内容を確認する。
フォーマットを行うとそのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えてしまいます。あらかじめ必要なデータがないか確認することをおすすめします。

●書き込み禁止タブ（ライトプロテクトタブ）を使う。
重要なデータを保存している場合におすすめします。
これにより、データの削除や上書き保存を禁止することができます。

●フロッピーディスクの取り扱いに注意する。
データの破損やフロッピーディスクが取り出せなくなるようなトラブルを避けるために次の点に注意してください。

・シャッターを手で開けない
・磁気を帯びたものを近づけない
・高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管しない
・ラベルを重ねて貼らない



◀フロッピーディスクを使用する場合は、フロッピーディスクドライブ（別売り：品番 CF-VFDU03J）が必要です。（→29ページ）

ご使用前に

使用上のお願い

MS-DOSモードで起動した場合の制限

MS-DOSモードでは次のような制限があります。
・フロッピーディスクドライブは使用できません。
・キーボードから1度に大量の文字を入力すると、まれにシステムが停止する場合があります。

ディスプレイについて

●ディスプレイは衝撃や振動に弱く、破損しやすいため、設置や移動の際には十分ご注意ください。
●カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で製造されていますが、ちょっとした環境変化等で点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができることがあります。これらの画素が0.002%以下（有効画素が99.998%以上）のものは故障ではありません。あらかじめご了承ください。

本体を移動するときには

ディスプレイを手前にし、しっかりと底に手をまわして持ち運んでください。ディスプレイの周囲をつかんだり、スタンドを持ってぶら下げたりしないでください。

お手入れのしかた

・ディスプレイ部分
ガーゼなどの乾いたやわらかい布で、軽く拭いてください。
・ディスプレイ以外の部分
水または、水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸したやわらかい布をかたくしぼって、やさしく汚れを拭き取ってください。

お願い

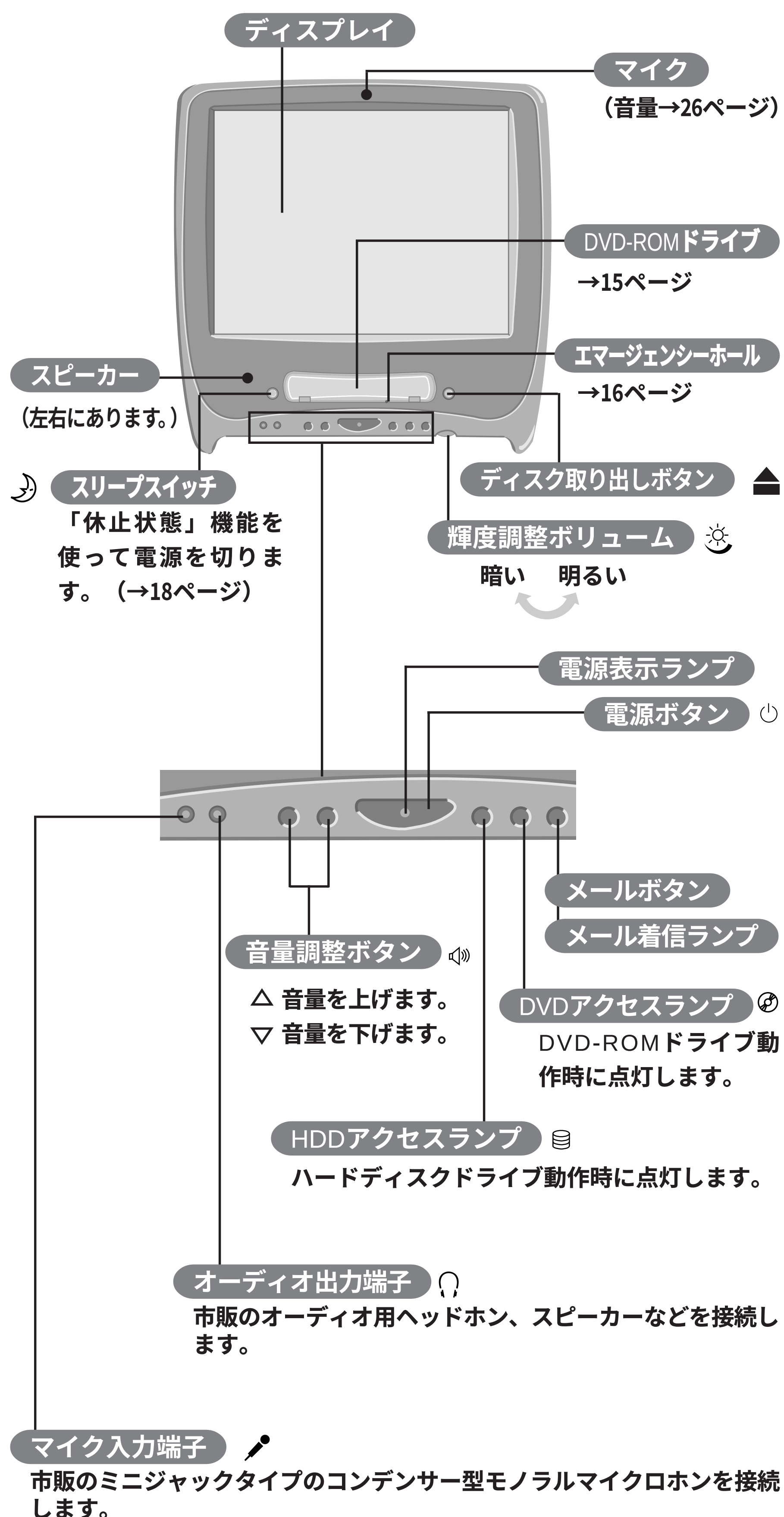
・ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。
・水や洗剤、スプレー式のクリーナーを直接かけないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

補足説明について

補足説明（[スタート]→[プログラム]→[Panasonic]→[オンラインマニュアル]→[補足説明]）には、本製品についての最新情報などが記載されています。あわせてご覧ください。

各部の名称と働き

前面



◀マイク
マイク入力端子に外部マイクを接続しているときは、このマイクは使用できません。

電源表示ランプ
電源を入れると、緑色に点灯します。

メールボタン
（→『活用編（アプリケーション）』）

メール着信ランプ
メール着信検知時・オレンジ色に点灯します。（→『活用編（アプリケーション）』）

音量調整ボタン
２つを同時に押すと音が消えます（ミュート）。いずれかの音量調整ボタンを押すと、音が出るようになります。

お願い

マイク入力端子では、コンデンサー型モノラルマイクロホンの2極プラグタイプまたは3極プラグタイプを使用してください。それ以外を使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。

各部の名称と働き

左側面

リセットスイッチ 

電源の入っているときに、先の細いもので押すと、コンピューターの電源を強制的に切ります。鉛筆など折れやすいものは使用しないでください。

i.LINK端子 

DVデッキ、デジタルビデオカメラなど、IEEE1394に準拠した機器を接続します。

増設RAMスロット

→32ページ

PCカードスロット

PC Card Standard規格に準拠したカードをセットします。（3.3 V/5 Vのみ）

PCカード取り出しボタン

光デジタル音声出力端子

CDやDVDのデジタルサウンドをほとんど劣化することなく光入力端子付きのMDデッキなどに出力します。

USBコネクター 

電源を入れたままで、USB対応のプリンター、フロッピーディスクドライブなどいろいろな周辺機器を接続できます。使用するにはUSB機器に付属のドライバープログラムをインストールする（組み込む）必要があります。USB機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

お願い

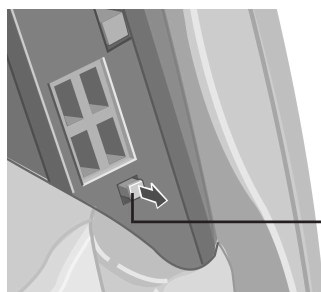
リセットスイッチは、何らかの問題が発生して、コンピューターが操作不能状態になったとき以外は使用しないでください。保存していないデータは失われます。

PCカード

→31ページ

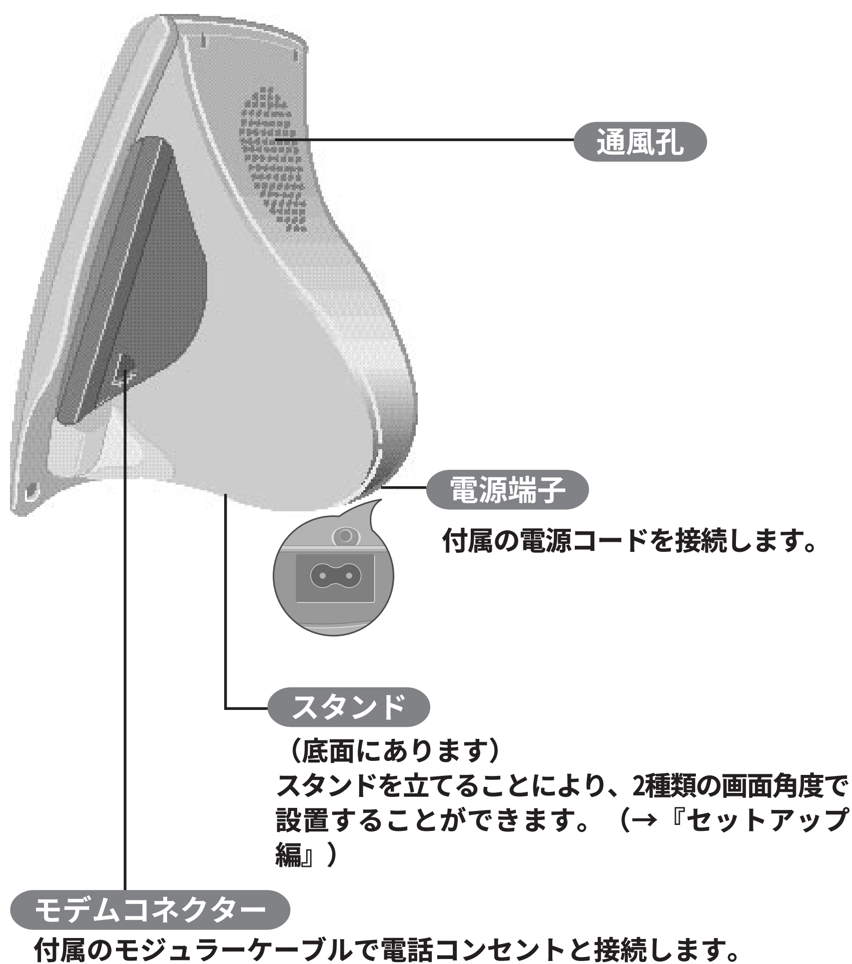
◀ 付属のマウス、キーボードおよび推奨品のフロッピーディスクドライブは、ドライバープログラムをインストールする必要はありません。

光デジタル音声出力端子のキャップの取り外しかた



取り外したキャップは、大切に保管してください。この端子を使用しないときには、必ずキャップを取り付けてください。

右側面・背面・底面



通風孔

電源端子

付属の電源コードを接続します。

スタンド

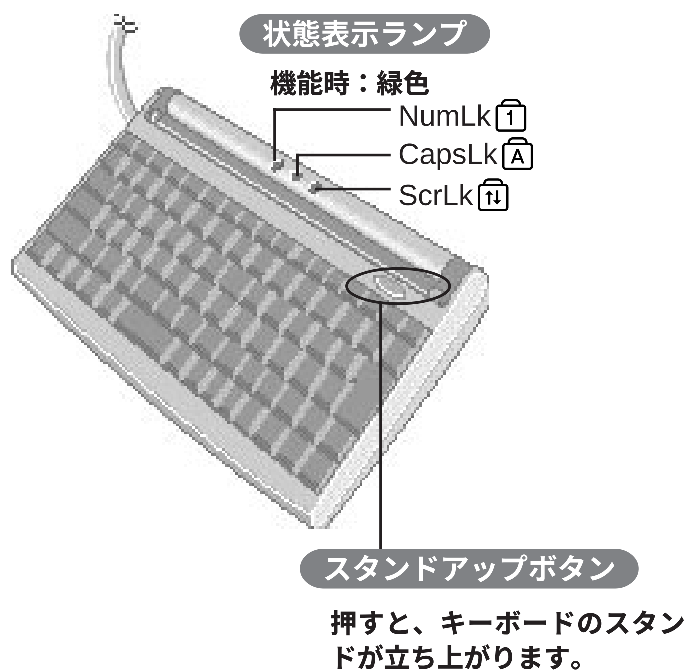
（底面にあります）
スタンドを立てることにより、2種類の画面角度で設置することができます。（→『セットアップ編』）

モデムコネクター

付属のモジュラーケーブルで電話コンセントと接続します。

各部の名称と働き

キーボード



押すと、キーボードのスタンドが立ち上がります。

NumLk
Shift + NumLK を押すごとに、点灯/消灯します。（→39ページ）

CapsLk
Shift + CapsLock/英数 を押すごとに、点灯/消灯します。
（→39ページ）

ScrLk
ScrLk を押すごとに、点灯/消灯します。（→39ページ）

DVD-ROMドライブについて

DVD-ROMドライブは、音楽CD、CD-ROM、DVD-ROMの再生（データの読み込み）をする装置です。ここでは音楽CD、CD-ROM、DVD-ROMなどをまとめて「ディスク」と呼びます。

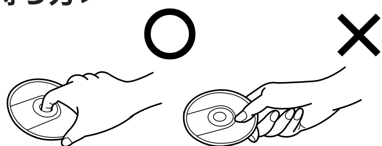
◀ CD-ROMやDVD-ROMには、音楽CDと同じ方法で、音楽以外にも画像や大量のデータが記憶されています。

ご使用前に

ディスク取り扱い上のお願い

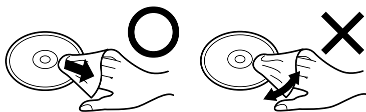
- 汚したり、傷つけたりしないでください。
- ゴミやほこりの多い場所、温度、湿度の高い場所、直射日光の当たる場所に置かないでください。
- 表面に字を書いたり、紙を貼ったりしないでください。
- 落としたり、曲げたり、重い物をのせないでください。
- 温度差の激しい場所に置かないでください。（結露が生じます。）
- 急に暖かい室内に持ち込んだときなどに露がついたら、乾いた柔らかい布でふいてください。
- ディスクの汚れや損傷の原因になりますので、再生面（タイトルのない面）に触れないでください。
- 2～3か月に1回程度、ディスクのクリーニングをしてください。クリーニングには、CDディスククリーナー*を使用してください。

＜持ち方＞



＜汚れをとるには＞

柔らかい乾いた布で、中心から外の方向へ軽くふきます。



＊ 品番： LF-K200DCJ
お問い合わせ先
P³カスタマーサポートセンター
電話：03-3834-2921
受付日および時間：
10:00～12:00、12:45～17:00
土日・祝日は除く

DVD-ROMドライブ取り扱い上のお願い

- トレイにディスク以外のものを載せないでください。
- トレイを開けたままで放置しないでください。
- トレイが開いているときに、トレイに無理な力をかけないでください。
- トレイを閉じた後、DVDアクセスランプが消えるまで、DVD-ROMドライブにアクセスしないでください。
- DVDアクセスランプ点灯中は、トレイを開けたり、コンピューターを動かしたりしないでください。
  アプリケーションが入ったディスクの場合、アプリケーションを起動した後、そのアプリケーションを終了するまでトレイを開けたり、ディスクを取り出したりしないでください。
- 油煙やたばこの煙の多いところでは使用しないでください。
- DVD-ROMドライブのすき間部分にゼムクリップなどの異物が入らないようにしてください。
- 変形したディスク（曲がったり、円形でないもの）は使用しないでください。

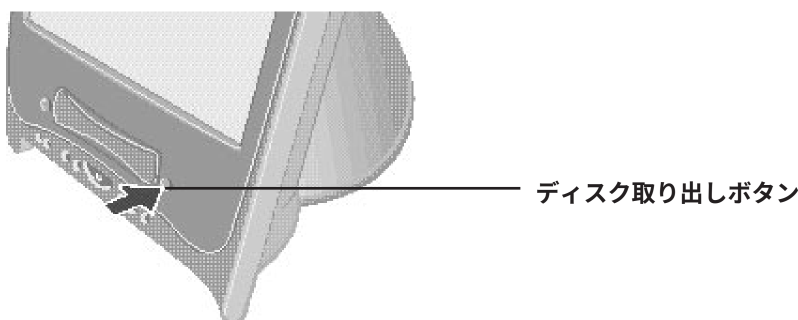
クラス1レーザ製品

DVD-ROMドライブについて

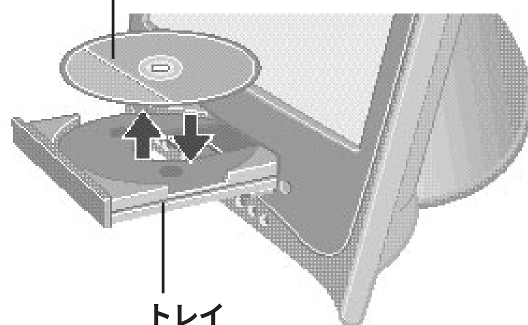
DVD-ROMドライブを使う

1 本体の電源が入っていることを確認し、ディスク取り出しボタンを軽く押す。

トレイが出てきます。



2 ディスクをセットする/取り出す。



3 ディスク取り出しボタンを押して、トレイを閉じる。

トレイが引き出せないときは

トレイが引き出せないときや、電源を入れないでディスクを取り出したいときは、付属のイジェクトピンをエマージェンシーホールに差し込んでトレイを引き出してください。



＜ディスクの再生について＞

ディスクの種類によって操作方法が異なります。（下記は一例です。）

●DVDビデオディスク
「DVDドリームプレーヤー」で再生できます。
（→『活用編（アプリケーション）』）

●音楽CD
Windowsの「CDプレーヤー」をご使用ください。

●フォトCD・ビデオCD
各CDに付属しているプレーヤーソフトをご使用ください。操作方法は各CDに付属の説明書をご覧ください。

●アプリケーションなどの入ったディスク
アプリケーションに付属している説明書をご覧ください。

使いかた

コンピューターを「休止状態」にする方法、画面の設定方法、周辺機器をつなぎ本機の機能を拡張する方法などについて説明しています。

もくじ

「休止状態」機能について

「休止状態」機能を使って終了すると、作業中の状態がハードディスクに保存されて電源が切れます。電源を入れると、電源を切る前に作業していた状態が呼び戻され、すぐに操作を始めることができます。

「休止状態」機能を使うには、次のような方法があります。

・スリープスイッチで休止状態に入る
・「スタンバイ」を選んで休止状態に入る

お願い

・「休止状態」機能を使う前に、安心のため必要なデータを保存してください。
・コンピューターのためには、定期的に（1週間に1回程度）、「休止状態」機能を使わずに「Windowsの終了」操作をして電源を切ってください。

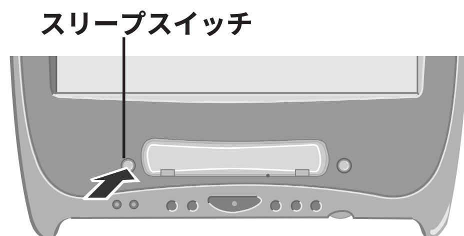
スリープスイッチで休止状態に入る

1 スリープスイッチを押す。

ピッと音が鳴ったことを確認して、手を離してください。（音量を最小にしている場合、音は鳴りません。）

お願い

スリープスイッチを４秒以上押したままにしないでください。４秒以上押し続けると、ピーという連続音が鳴り、休止状態に入らず強制的に電源が切れます。



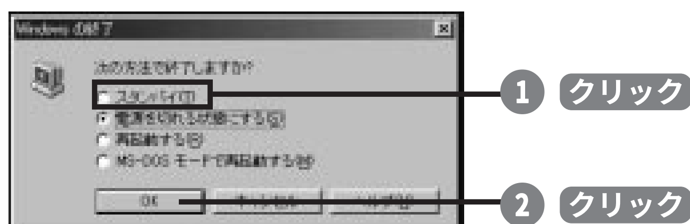
しばらくの間、画面が暗くなった後、作業中の状態がハードディスクへ保存されます。その後、電源が切れます。（電源表示ランプが消灯します。）

◀保存中は青い画面になり、画面に処理の進行を示す赤いインジケーターが表示されます。

「スタンバイ」を選んで休止状態に入る

1 デスクトップの[スタート]→[Windowsの終了]をクリックする。

2 「スタンバイ」を選ぶ。



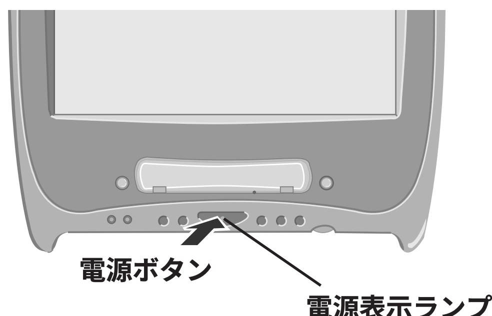
しばらくの間、画面が暗くなった後、作業中の状態がハードディスクへ保存されます。その後、電源が切れます。（電源表示ランプが消灯します。）

◀保存中は青い画面になり、画面に処理の進行を示す赤いインジケーターが表示されます。

操作を再開する

電源ボタンを約１秒間押す。

電源表示ランプが点灯したことを確認して、手を離してください。



電源表示ランプが緑色に点灯し、画面が電源を切る前の状態に戻ります（リジューム）。

お願い

データの呼び出し中は、絶対にキーボードやマウスの操作をしないでください。

以下の場合は、休止状態に入らないでください

これらの機能や周辺機器が正常に動作しない場合があります。

- 通信ソフト動作中
- オーディオの録音・再生中
- 動画のキャプチャー保存中や再生中
- PCカード（SCSI・ATAカード）などの周辺装置の使用中
- フロッピーディスクドライブ・ハードディスクドライブの使用中
- DVD-ROMドライブ・USB機器（付属のマウス・キーボードは除く）などの使用中

「休止状態」の処理中およびリジューム時にしてはいけないこと

- 処理中は、リセットスイッチを押さないでください。
  保存していないデータは失われます。
- リジューム時は、Windowsが完全に起動するまで、キーボード、マウスを操作しないでください。

「休止状態」に入れない

- WindowsやMS-DOS以外のオペレーティングシステム（OS）ではディスプレイの電源が正常に復帰しなかったり、休止状態に入れないことがあります。
- 常駐ソフトウェアがある場合は、休止状態に入れないことがあります。

用 語

リジューム：休止状態から、次に電源を入れたときに元の状態に戻ることを言います。

常駐ソフトウェア（常駐プログラム）：メモリー上に常に保持され、働いている（または、いつでも働けるようになっている）ソフトウェア。

省電力機能について

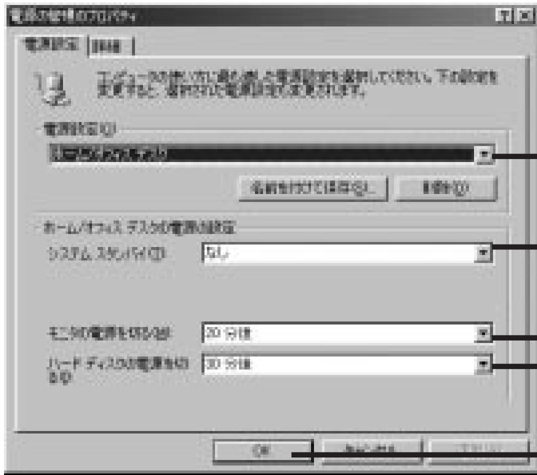
しばらくの間コンピューターを放置したときに、自動的に休止状態に入ったり、ディスプレイの電源を切ったりすることができます。

設定のしかた

1 デスクトップの[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックする。

2 [電源の管理]アイコンをダブルクリックする。

（工場出荷時）



電源設定
「ホーム／オフィスデスク」「ポータブル／ラップトップ」「常にオン」の中から選択します。

システムスタンバイ
コンピューターを放置してから、設定した時間後に、休止状態（→18ページ）に入る機能です。

モニタの電源を切る
コンピューターを放置してから、設定した時間後に、ディスプレイの電源を切る機能です。
（電源表示ランプは点灯したままです。）

ハードディスクの電源を切る
コンピューターを放置してから、設定した時間後に、ハードディスクの電源を切る機能です。

電源設定を「ポータブル／ラップトップ」「常にオン」に変更した場合の初期値は次の通りです。

項目	ポータブル/ラップトップ	常にオン
システムスタンバイ	20分後	なし
モニタの電源を切る	15分後	15分後
ハードディスクの電源を切る	30分後	1時間後

「モニタの電源を切る」を設定しているときは

スクリーンセーバー（→22ページ）を設定しないでください。この機能とスクリーンセーバーの両方を設定していると、ディスプレイの電源が正常に復帰しなかったり、休止状態から正常にリジュームできなかったりすることがあります。

通信機能を使う場合

モデムを使って通信を行う場合、省電力機能が働いてデータの転送中などに休止状態になったり、通信が正常に行われない場合があります。通信機能を使う場合、上記の画面で「システムスタンバイ」を「なし」にするか十分時間をとっておくことをおすすめします。

省電力機能が働いたら

前ページで設定した時間、コンピューターを操作せずに置いておくと、省電力機能が働きます。

＜コンピューターの画面が真暗になっていたら＞

いずれかのキーを1回押すか、マウスを動かすと画面が復帰します。
このとき、キーボードやマウスの入力は受け付けられますので、アプリケーションの動作に影響のないキー（ Shift など）で操作してください。

＜上記の操作をしても画面が元に戻らない場合＞

電源ボタンを約１秒間押して電源を入れる。

ハードディスクの電源が切れた場合
ハードディスクへのアクセスが発生すると自動的にハードディスクの電源が入ります。

◀システムスタンバイが働き「休止状態」に入っています。「休止状態」から操作を再開する場合について詳しくは→19ページ

画面についての設定

画面の背景（壁紙）やスクリーンセーバーを設定する

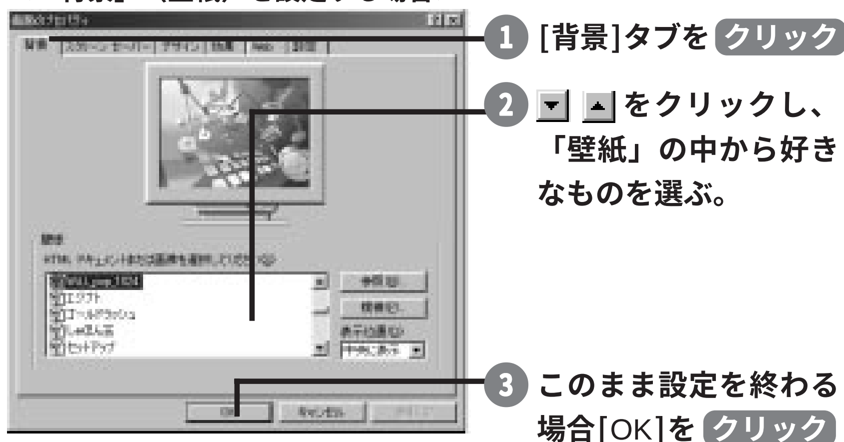
デスクトップの背景（壁紙）やスクリーンセーバーを好みのものに変更することができます。

ほかの始めかた
デスクトップ（壁紙）上で、マウスの右ボタンをクリックし、「プロパティ」を選んでも左記の画面を表示できます。

1 デスクトップの[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックする。

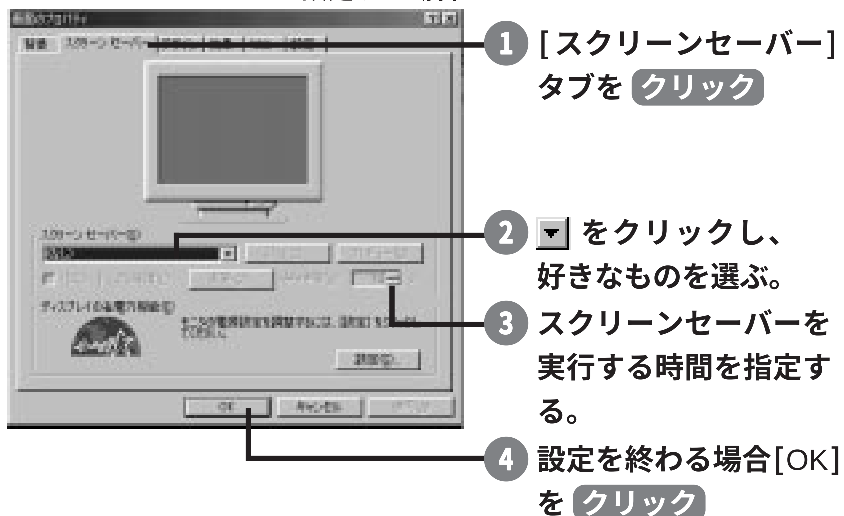
2 [画面]アイコンをダブルクリックする。

＜「背景」（壁紙）を設定する場合＞



1 [背景]タブを クリック
2 ▼ ▲ をクリックし、「壁紙」の中から好きなものを選ぶ。
3 このまま設定を終わる場合[OK]を クリック

＜スクリーンセーバーを設定する場合＞



1 [スクリーンセーバー]タブを クリック
2 ▼ をクリックし、好きなものを選ぶ。
3 スクリーンセーバーを実行する時間を指定する。
4 設定を終わる場合[OK]を クリック

◀設定した時間が経過して、スクリーンセーバーが実行された場合、いずれかのキーを押すかマウスを動かすと元の表示に戻ります。

スクリーンセーバーを設定したときは

コントロールパネルの「電源の管理」で「モニタの電源を切る」を「なし」に設定してください。スクリーンセーバーと省電力機能の両方を設定していると、ディスプレイの電源が正常に復帰しなかったり、休止状態から正常にリジュームできなかったりすることがあります。（→20ページ）

用 語

スクリーンセーバー：　一定時間コンピューターを放置した場合に、画面上で動く絵柄を表示し、（例えば桜の花びらが散っていくような表示）、画面の焼き付きを防ぎます。

使いかた

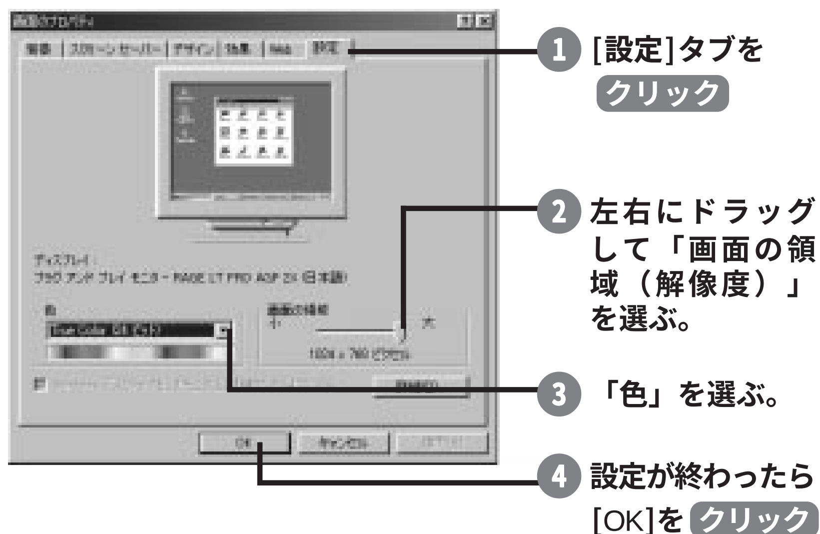
便利

画面の解像度（領域）や色数を設定する

必要に応じて、解像度や表示の色数を変更することができます。

1 デスクトップの[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックする。

2 [画面]アイコンをダブルクリックする。



3 確認のメッセージが表示されますので[はい]をクリックする。

お願い

- 画面の解像度や色数を変更する場合は、必ずアプリケーションを終了してから行ってください。
- 本機に搭載されているディスプレイは1024×768ピクセルで最も美しい表示になるように作られています。その他の解像度では表示内容の輪郭が多少ギザギザしますが、故障ではありません。

色について

65,536色で表示することを「High Color」、1,600万色で表示することを「True Color」といいます。

解像度について

- 画面上では、文字や画像は小さな点（ピクセル）の集まりとして表示されます。（例えば、1024×768ピクセルは画面の水平方向に1024ピクセル、垂直方向に768ピクセルの点で、文字や画像を表示します。）
- 設定した解像度と色数の組み合わせがサポートされていないアプリケーションでは表示が乱れたり、正しく表示されなかったりします。
- 上記画面で[詳細]→[アダプタ]タブをクリックして表示される「リフレッシュレート」の項目は、必ず「最適」に設定し、変更しないでください。変更すると、表示が乱れたり、正しく表示されなかったりします。

設定できる解像度と表示色

ピクセル＼色	16色	256色	High Color（16ビット）	True Color（24ビット）	True Color（32ビット）
640×480	○	○	○	○	○
720×480	×	○	○	○	○
800×600	×	○	○*	○*	○*
848×480	×	○	○	○	○
1024×768	×	○	○*	○*	○

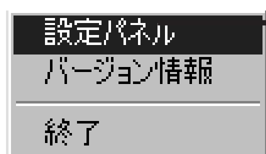
* DVDドリームプレーヤー、DVキャプチャーを使用することができる設定です。

ビジュアルブライト液晶の設定

本機のビジュアルブライト液晶では、映像や画像を表示するウィンドウを指定して高画質化することができます。
この機能は解像度が1024×768ピクセル（工場出荷状態）のみ有効です。
高画質化するウィンドウは以下のようにして登録します。

1 **高画質化するアプリケーションのウィンドウを表示しておく。**

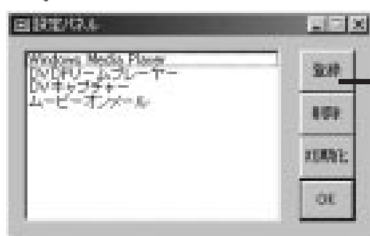
2 **タスクバー*の をダブルクリックする。**



クリック

*『セットアップ編』「Windowsの画面を見てみましょう」参照。





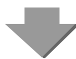
[登録]を クリック

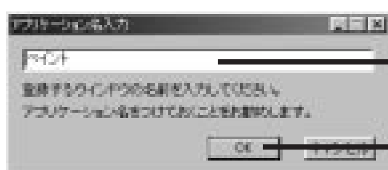




① このアイコンに矢印をあわせて、マウスの左ボタンを押したまま、

② 高画質化するウィンドウ上へアイコンを移動して、ボタンを離す。





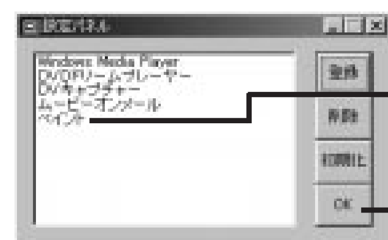
① アプリケーション名を入力、確定する。

② [OK]を クリック



確認のメッセージが表示されます。
[OK]を クリック





高画質化するアプリケーション名が登録されました。

[OK]を クリック

ビジュアルブライト液晶
当社の液晶ディスプレイ高画質化信号処理技術によりテレビに迫るメリハリのある鮮やかな表示を可能にしています。

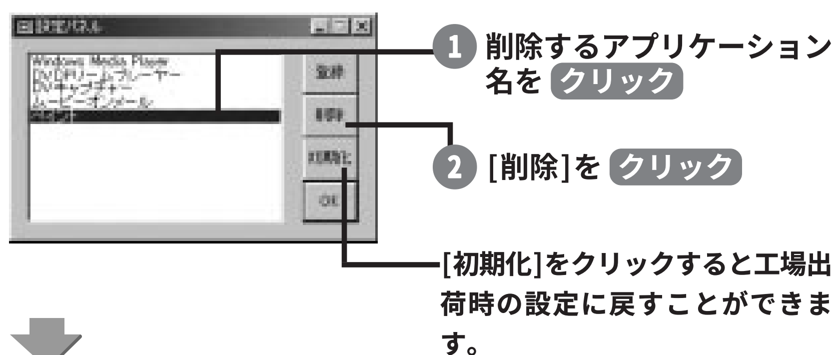
高画質化
高画質化設定をすると、ウィンドウの内容に応じて明るさやシャープさなどを変化させ、より鮮やかな画像を表示することができます。ワープロなど文字が主体のアプリケーションには、逆に輝度が上がりすぎますので、高画質化の登録をしないでください。

自動的に高画質化されるアプリケーション（工場出荷時）
- Windowsのメディアプレーヤー
- 当社製：DVDドリームプレーヤー
  DVキャプチャー
  ムービーオンメール

お願い
- 一部のアプリケーションまたはアプリケーション中のウィンドウ（イメージブラウザーの画像表示部分など）によっては、登録ができなかったり、登録できても高画質化されない場合があります。
- 一部のアプリケーションでは、ウィンドウを最大化した場合に、高画質化されないことがあります。
- ボイスオンメール、似顔絵メールは、高画質化するアプリケーションに登録することはできません。

＜登録したアプリケーションを削除したり、工場出荷状態に戻すには＞

1 前ページの手順*2*の画面を表示する。





確認のメッセージが表示されますので

[OK]を クリック

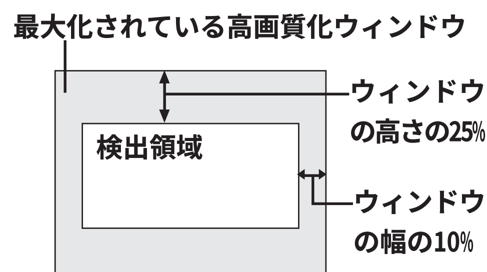
ウィンドウが重なったとき

＜高画質化ウィンドウ上に通常表示のウィンドウが重なったとき＞
高画質化処理を停止し、通常表示にします。

＜最大化されている高画質化ウィンドウ上に通常表示のウィンドウが重なったとき＞

・検出領域に重なっている場合
　最大化されている高画質化ウィンドウの高画質化処理を停止します。

・検出領域に重なっていない場合
　高画質化処理を継続します。



＜複数の高画質化ウィンドウが表示されているとき＞
最後にアクティブになった高画質化ウィンドウが高画質化処理されます。

サウンドについての設定

コンピューターから出力されるサウンドについて次のような設定ができます。

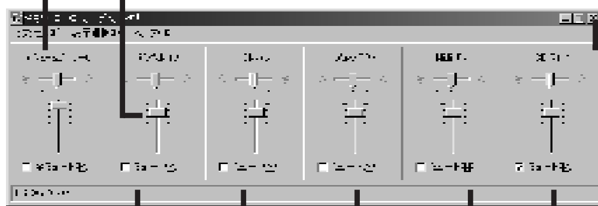
オーディオミキサーを使う

音源ごとに音量を設定したり、サラウンドを設定したりできます。

1 タスクバーの をダブルクリックする。

全体のボリュームコントロール

スライドバーをドラッグして調整します。



をクリックすると設定を終わります。

CD/DVDの音

モデムからの音

Windowsの効果音（起動時の音楽など）

MIDI（ゲームなど）

スピーカー、ヘッドホン接続時に3D（360度方位）のサラウンドを設定します。

ボリュームコントロール

音源に関わらず、一律に音量を調整をします。本体の音量調整ボタン（→11ページ）に対応しています。また、タスクバーの をクリックすると、ボリュームコントロールの画面のみが表示されます。

ミュート

「ミュート」にチェックマークをつけると、音が消えます。

使いかた

便利

録音時の入力レベルが小さい場合

マイクやCD/DVDからの録音時の入力レベルが小さい場合、次のようにします。

①「オーディオミキサー」画面で[オプション]→[オプション]をクリックする。

②「音量の調整」で「録音」を選び、「表示するコントロール」で「マイクロフォン」または「デジタルイン」（CD/DVDの場合）を選ぶ。（チェックマークがついていることを確認します。）

③[OK]をクリックした後、スライドバーをドラッグして音量を調整する。

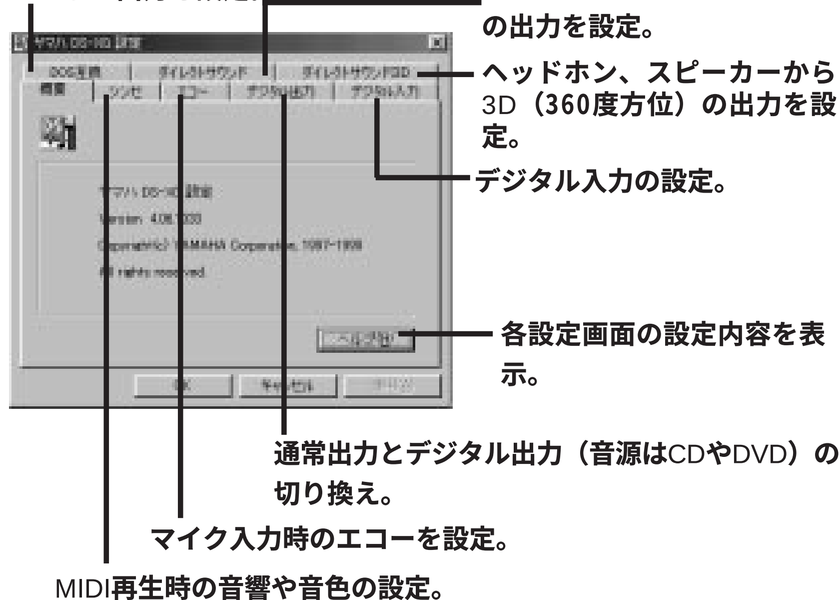
マイクのハウリングについて

手を近づけたりするとハウリングを起こす場合があります。その場合は、「オーディオミキサー」画面で[オプション]→[オプション]をクリックし、「音量の調整」で「再生」を選び、「表示するコントロール」で「マイクロフォン」にチェックマークを付けた後[OK]をクリックして、「マイクロフォン」をミュートにするようにしてください。または、ハウリングを起こさないように、マイクとスピーカーの音量を適度に調節してください。

コントロールパネルで設定する

1 デスクトップの[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックする。

2 [ヤマハDS-XG設定]をダブルクリックする。



3 各項目を設定後、[OK]をクリックする。

◀設定内容の説明は、左の画面で[ヘルプ]ボタンをクリックし、参照してください。

お願い

デジタル出力についてのお願い

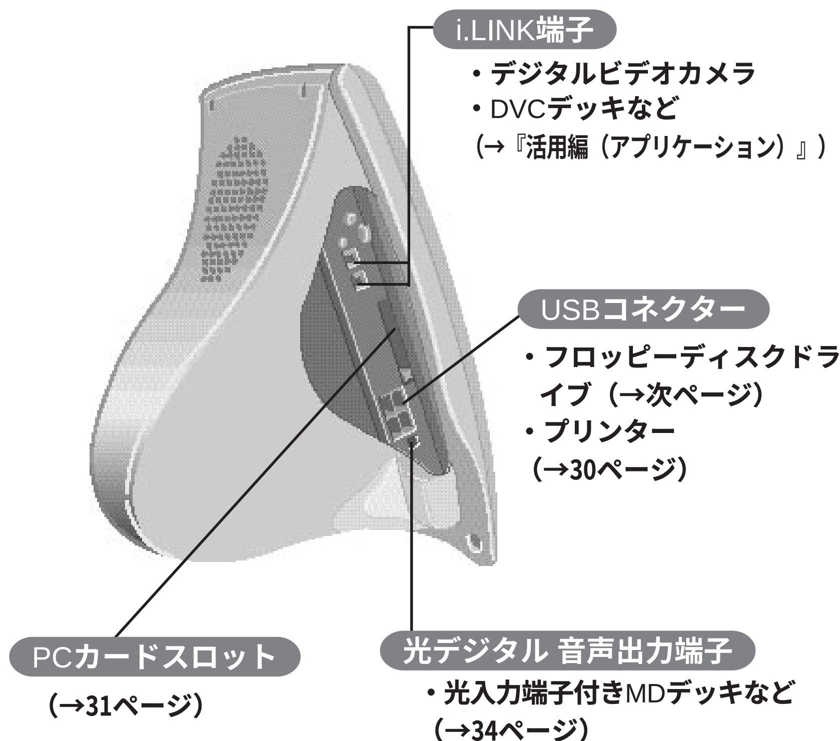
本機の光デジタル音声出力端子に接続した外部機器（→34ページ）から出力する場合、音量の調整は、外部機器で行ってください。

DVDビデオディスクの「Dolby Digital」再生時のお願い

- 外部機器が「Dolby Digital」出力に対応していない場合、正しく再生できません。また、音源の再生と同時に大きな音が出る場合がありますので、あらかじめ、外部機器の音量を絞っておいてください。
- デジタル音声出力端子から音声が出力されない場合、[デジタル出力]タブをクリックし、「Dolby Digital出力無効」にチェックマークがついていないことを確認してください。（あらかじめ、外部機器の音量も確認してください。）

周辺機器を拡張する

次のようなAV機器や周辺機器を接続することができます。



◀マイク・ヘッドホンについては（→34ページ）

デジタルスチルカメラについて

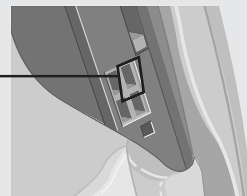
コンパクトフラッシュカード（以降、CFカード）対応のデジタルスチルカメラを使用することができます。撮影した画像が保存されているCFカードを、デジタルスチルカメラに付属のアダプター（機種によっては付属していない場合もあります）に取り付けて、本機のPCカードスロットに接続してください。詳しくは、デジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

USB機器を使う（外部FDDなど）

別売りのフロッピーディスクやプリンター、イメージスキャナーなどUSB対応のいろいろな周辺機器を使用することができます。（USB機器の取扱説明書もご覧ください。）

本機にはUSBコネクターが４つあります。そのうち１つはUSBルートハブ（右図）、その他のコネクターはUSBハブになっています。周辺機器によってはUSBルートハブに接続しないと動作をしない場合があります。

USBルートハブ



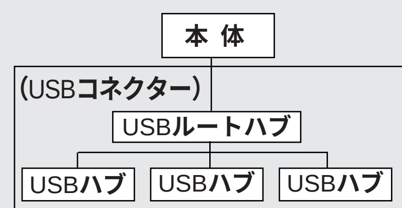
USBルートハブに機器を接続した場合

お使いの機種のドライバーをインストールした後、必ず次の操作をしてください。
（この操作をしない場合は、休止状態からの復帰時に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示され、以降の操作に支障をきたすことがあります。）

①[スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
②次のように入力する。
c:\util\usbroot.bat
③[OK]をクリックする。
以降は、画面のメッセージに従って操作してください。
④[完了]が表示されたら、画面右上の[×]をクリックする。
⑤USBルートハブに接続したUSB機器のコネクターをいったん抜き、再度USBルートハブに接続する。
※「ハードウェアの追加ウィザード」が起動した場合は、もう一度ドライバーをインストールしてください。

◀付属のキーボード、マウス、別売りの外部FDD：CF-VFDU03Jについては、この操作は必要ありません。

USBルートハブとUSBハブ
USBルートハブは、本体と直接つながっているコネクターです。
USBハブは、内部でUSBルートハブを経由して本体につながります。
（内部構造のイメージ図）

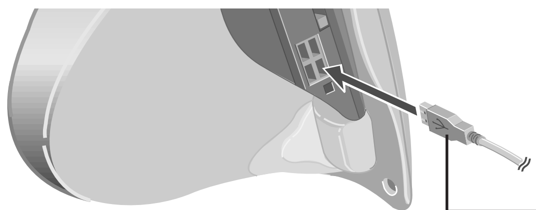


フロッピーディスクドライブを使う

別売りのUSB対応フロッピーディスクドライブ(外部FDD：CF-VFDU03J)をご使用ください。

◀外部FDD：CF-VFDU03Jに付属のフロッピーディスクからドライバーをインストールする必要はありません。

1 フロッピーディスクドライブを接続する。



マークを背面に。

◀フロッピーディスクドライブからコンピューターを起動することはできません。

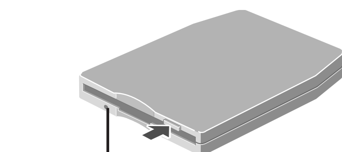
◀４つのコネクターのうち、どのコネクターに接続してもかまいません。

（次ページもご覧ください。）

USB機器を使う（外部FDDなど）

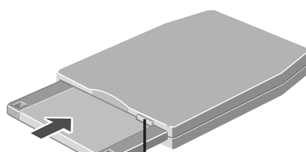
フロッピーディスクのセット／取り出し

<取り出す場合>



ドライブアクセスランプが点灯していないことを確認した後、取り出しボタンを押す。

<セットする場合>



フロッピーディスク取り出しボタンが飛び出すまで、確実に挿入する。

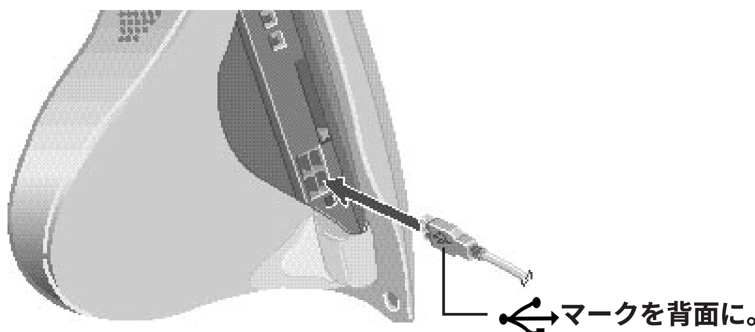
お願い

- ドライブアクセスランプ点灯中はフロッピーディスクを取り出さないでください。フロッピーディスク内のデータが壊れる恐れがあります。
- フロッピーディスクドライブを持ち運ぶときや保管しておくときには、必ず、フロッピーディスクを取り出してください。

プリンターを使う

USB対応のプリンターを使用することができます。

1 USBコネクターに接続する。



◀ケーブルはプリンターに付属のものをご使用ください。

2 プリンター、本機の順に電源を入れる。

3 プリンターを設定する。

プリンターを使うために必要なプリンタードライバーをインストールします。プリンターに付属の取扱説明書、または画面に表示されるメッセージにしたがって操作してください。

◀プリンターに付属しているフロッピーディスク版のプリンタードライバーを使用する場合は、別売りのフロッピーディスクドライブ（→前ページ）が必要です。

使用できるフロッピーディスクの種類と記録容量

フロッピーディスクには「2HD」と「2DD」の２種類があります。それぞれの記憶容量は次のとおりです。（「2HD」は「2DD」の約２倍記憶できます。）

2HD: 1.44 Mバイト/1.2 Mバイト
2DD: 720 Kバイト

用 語

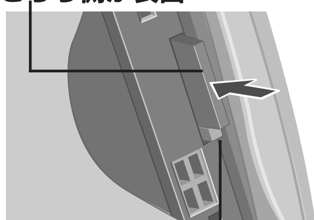
読み出し	：フロッピーディスクのデータを本体のメモリー上に送ることを「読み出し」といいます。
書き込み	：メモリー上のデータをフロッピーディスクに送り、記録することを「書き込み」といいます。
フォーマット	：新しいディスクは、磁気的に区画整理をする必要があります。この作業を「フォーマット」（初期化）といいます。

PCカードを使う

本機にはPCカード用スロットが１つあります。
PCカードを使うことによりネットワークに接続したり、SCSI機器などの周辺機器を接続することができます。
カードは厚みによってタイプⅠ（3.3mm）、タイプⅡ（5.0mm）、タイプⅢ（10.5mm）の３つの種類に分けられます。
本機で取り付けることができるのは、タイプⅠまたはタイプⅡのカードです。

＜PCカードを取り付ける場合＞

1. 取り出しボタンを押して、ダミーカードを取り出す。（→下記）
   工場出荷時は、PCカードスロットの保護のため、ダミーカードが挿入されています。



2. PCカードの表面（ラベル面）を背面側にしてPCカードスロットにしっかりと差し込む。

カードを差し込んだ後、しばらくの間画面が動かなくなります。カードの認識が終わると、元に戻ります。

＜PCカード（またはダミーカード）を取り出す場合＞

PCカードは次の設定をしてから取り出してください。
（ダミーカードは、手順④のみ行ってください。）

1. デスクトップの[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックする。
2. [PCカード（PCMCIA）]アイコンをダブルクリックし、「PCカード（PCMCIA）のプロパティ」画面で取り出すPCカードを選んで[停止]をクリックする。
3. 「このデバイスは安全に取りはずせます」というメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。
   （メッセージは、ほかの画面に隠れて見えないことがあります。）
4. 取り出しボタンを押し、カードを取り出す。



ボタンを押すと、ピポッと音がしてカードが少し出てきますので、取り出してください。

お願い

CardBusおよびネットワークカードを取り出す場合は、必ず電源を切ってから取り外してください。

◀PCカードを使用しないときは、PCカードスロットにほこりや異物が入らないようにダミーカードを取り付けておくことをおすすめします。

メモリーを増やす（RAMモジュールを使う）

現在のメモリー容量は、セットアップユーティリティーの「メイン」メニュー（→38ページ）で確認することができます。
工場出荷時のメモリー容量は、64 Mバイトです。さらに別売りのRAMモジュールを増設することによってメモリー容量を拡張することができます。RAMモジュールを増設または取り外す場合は、以下の手順にしたがって操作してください。

お願い

指定以外のRAMモジュールを使用すると、正常に動作しないだけでなく故障の原因になる場合があります。
RAMモジュール
64 Mバイト　品番：CF-BAS0064J
128 Mバイト　品番：CF-BAF0128J*
*1999年11月以降の発売です。

◀詳しくは
→取扱説明書『セットアップ編』

1 操作を終わり、電源を切った後、電源コードを取り外す。

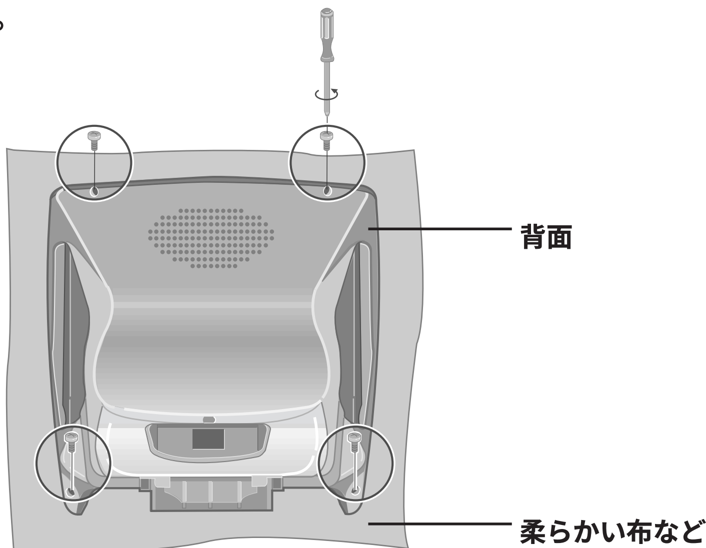
USB機器など、周辺機器の接続ケーブルも取り外してください。

2 ディスプレイが下になるよう本体を置く。

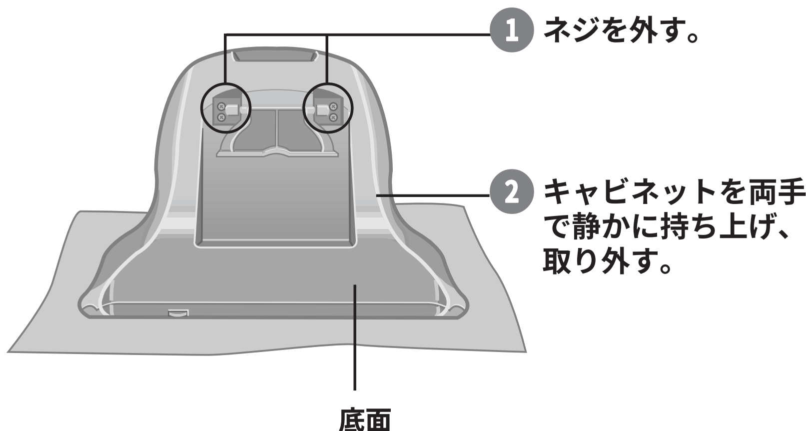
お願い

- 休止状態のときは、RAMモジュールの取り付け・取り外しを行わないでください。機器が破損したり、正常に動作しないことがあります。
- ディスプレイに傷がつかないように柔らかい布などを敷いてください。

3 小型のプラスドライバーを使ってネジ（4か所）を取り外す。



4 スタンド部分のネジ（4か所）を取り外し、キャビネットを取り外す。

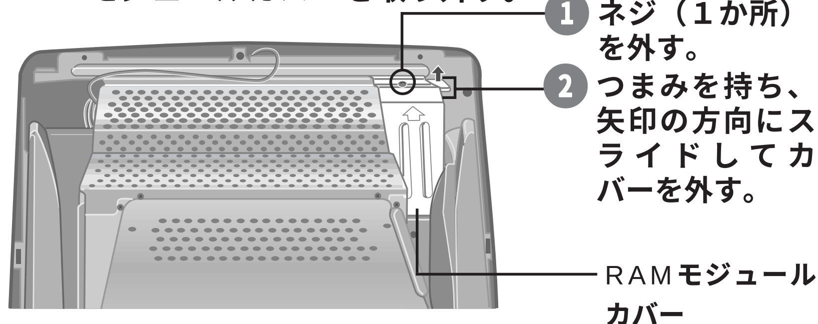


◀キャビネットを取り外す際に、スタンドを取り外す必要はありません。

使いかた

拡張

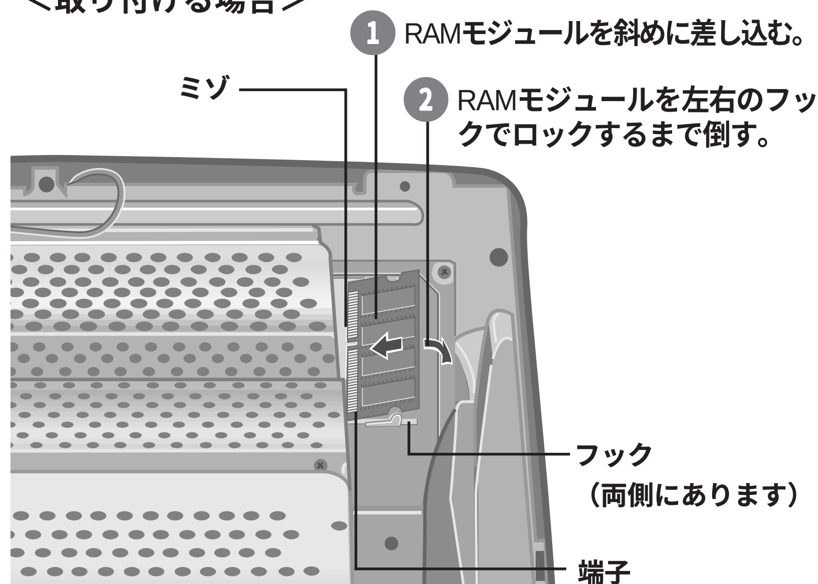
5 RAMモジュールカバーを取り外す。



◀金属で手を傷つけないように手袋の着用をおすすめします。

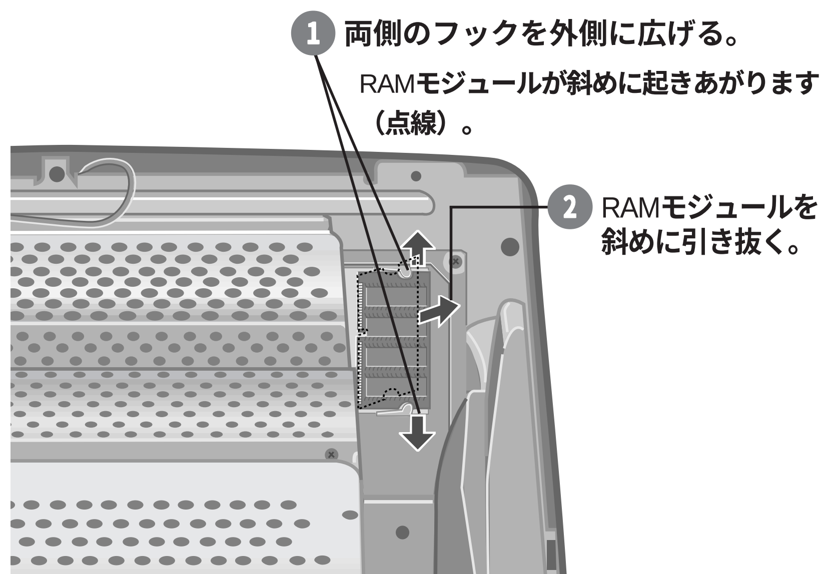
6 RAMモジュールを取り付ける／取り外す。

＜取り付ける場合＞



◀向きと角度に注意して差し込んでください。向きやミゾとの角度を間違うとうまく入りません。

＜取り外す場合＞



お願い

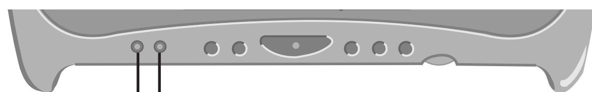
RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。取り付けおよび取り外しのときは、RAMモジュールの両端を持ち、端子や電子部品などに触れないようにしてください。また、本体内部の部品や端子などにも触れないでください。

7 手順3〜5で取り外したカバーとネジを取り付ける。

オーディオ機器を接続する

次のような機器を接続して使うことができます。

<マイク・ヘッドホン・スピーカー>

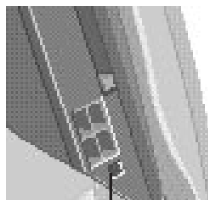


オーディオ出力端子
市販のミニジャックタイプのオーディオ用ヘッドホン、スピーカーなどを接続します。

マイク入力端子
市販のミニジャックタイプのコンデンサー型モノラルマイクロホンを接続すると、ノイズの少ない音をコンピューターに入力できます。

<MDデッキなど>

本機の光デジタル音声出力端子に光入力端子付きのMDデッキやMDレコーダーを接続し、音楽CDなどの音声をMDに録音することができます。（下記のケーブルが必要です。）



光デジタル音声出力端子
（EIAJ角型ジャック）

推奨品　オプティカルデジタルケーブル
（別売り：RP-CA2010A 1m）
※接続する機器の光入力端子の形状により使用するケーブルが異なることがあります。
接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

接続する場合は、次のようにします。
①本機および接続する機器の電源を切る。
②キャップを取り外す。（→12ページ）
③本機の光デジタル音声出力端子と、接続する機器の光入力端子を上記ケーブルで接続する。

※録音方法などについては、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。
※光デジタル音声出力端子を使用しないときは、保護のためキャップを取り付けておいてください。

お願い

- マイク入力端子では、コンデンサー型モノラルマイクロホンの2極プラグタイプまたは3極プラグタイプを使用してください。それ以外を使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。
- マイク入力端子に外部マイクを接続しているときは、内蔵マイクは使用できません。
- 音量などの調整については（→26ページ）

◀オーディオ事業部扱い
お問い合わせ先
ナショナルパナソニック
お客様ご相談センター
〈フリーダイヤル〉0120-878-365
受付時間：9時～20時、365日

◀音声が出力されない場合は、コントロールパネルの[ヤマハDS-XG設定]アイコンをダブルクリックし、[デジタル出力]タブや[デジタル入力] タブの設定を確認してください。詳しくは、[ヤマハDS-XG設定]のヘルプをご覧ください。
（→27ページ）

必要なときに

オンラインマニュアルの見かたや特殊なキーの操作方法など、必要に応じてご覧いただきたいことについて説明しています。

もくじ

オンラインマニュアルの見かた

画面で見ることができるオンラインマニュアルとして、以下のものが用意されています。プリンターが接続されていれば、印刷することもできます。

<困ったときのQ&A>

本機が思ったとおりに動かないなど、トラブルが発生したときの対処方法をQ&A方式でまとめています。

<パソコン・サポートとつきあう方法>

初めてのかたを対象に、電話サポート窓口を上手に利用する方法やコンピューターの専門的な用語・略語などについて説明しています。（編集：社団法人　日本電子工業振興協会）

<内蔵モデムコマンド一覧>

内蔵モデムのATコマンドについて説明しています。

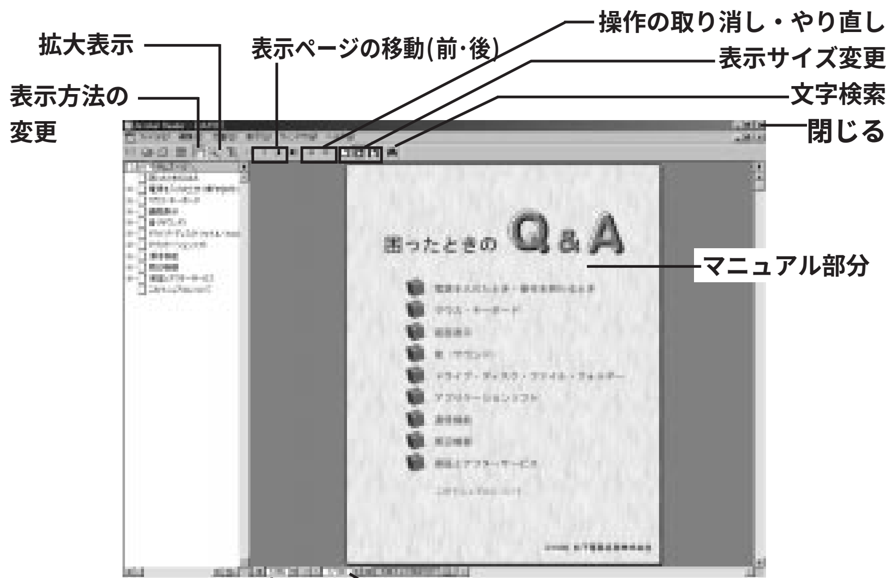
オンラインマニュアルの起動のしかた

下記に記載の手順でオンラインマニュアルを起動してください。
下記以外の方法（エクスプローラなどから、マニュアルのファイルをダブルクリックするなど）ではじめてオンラインマニュアルを起動した場合、エラーメッセージが表示されることがあります。
その場合は「OK」をクリックしてエラーメッセージ画面を閉じてください。

1 [スタート]→[プログラム]→[Panasonic]→[オンラインマニュアル]をクリックし、見たいマニュアルを選ぶ。

（「困ったときのQ&A」はデスクトップの[困ったときのQ&A]アイコンをダブルクリックしても起動することができます。）

◀はじめて『オンラインマニュアル』を起動したときは、「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されるので、内容を確認の上、[同意する]をクリックしてください。



◀下部の「ページ表示・指定」がタスクバーにかくれて見えないときは、ウィンドウを最大表示にしてください。

必要なときに

セットアップユーティリティー

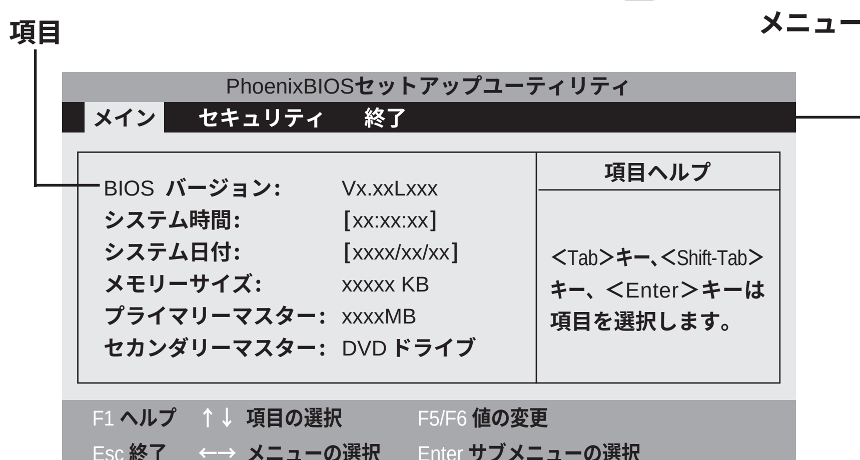
ここでは、BIOSのバージョン情報を表示したり、ユーザーパスワードを設定するためのユーティリティー（セットアップユーティリティー）について説明します。

起動する

1 Windowsを終了して再起動する。

[スタート]→[Windowsの終了]をクリックし、[再起動する]を選んで[OK]をクリックする。

2 「<F2>キー：セットアップユーティリティーの起動」というメッセージが表示されているときに F2 を押す。



◀ F2 を押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティーは起動しません。その場合、Windowsを終了してやり直してください。

◀ 「パスワードを入力してください」と表示されたら、パスワードを入力してください。（→次ページ）

<終了するときは>

1 ← → で「終了」メニューを選び、Enter を押す。

Windowsが起動します。
パスワードが有効になっている場合は、Windowsが起動するまでにパスワードの入力が必要です。

キー操作

下記のキーのうち、画面下側に表示されているものが使用できます。

F1	:一般ヘルプが画面に表示されます
← →	:「メイン」「セキュリティ」「終了」を選ぶときに使用します。
↑ ↓	:カーソルが上下に移動します。項目を選ぶときに使用します。
F5 F6	:各項目の設定値を選ぶときに使用します。
Enter	: ↑ ↓ で項目を選んだ後に押すと、各設定項目のサブメニュー画面が表示されます。
Esc	:「終了」メニューが表示されます。
Tab	:日時設定のとき、カーソルの移動に使用します。

セットアップユーティリティー

メインメニュー

1 ← → で「メイン」メニューを選ぶ。

現在のメモリー容量やBIOSのバージョンなどを確認することができます。

コンピューターに設定されている日付と時刻を確認できます。
また、設定を変更することができます。

BIOS バージョン:	Vx.xxLxx
システム時間:	[xx:xx:xx]
システム日付:	[xxxx/xx/xx]
メモリーサイズ:	xxxxx KB
プライマリーマスター:	xxxxMB
セカンダリーマスター:	DVD ドライブ

◀ 左記は標準設定（工場出荷状態）の画面例です。

システム時間/日付の変更
① ↓ ↑ を押し、各項目にカーソルをあわせる。
② Tab を押し、「時：分：秒」または「年/月/日」のそれぞれの項目にカーソルをあわせて、F5（戻る）F6（進む）を押してあわせる。

セキュリティメニュー

1 ← → で「セキュリティ」メニューを選ぶ。

▶ユーザーパスワード設定:	[Enter]

コンピューターの起動およびセットアップユーティリティーの起動をパスワードによって機密保護します。

2 ユーザーパスワードを設定する。

▶ユーザーパスワード設定	
新しいパスワードを入力してください	[xxxxxxx]
新しいパスワードを確認してください	[xxxxxxx]

1 新しいパスワードを入力する。
2 同じパスワードを入力する。
3 Enter を押す。

3 「セットアップ通知」の画面が表示されたら Enter を押す。

お願い

パスワードは忘れないようにメモ用紙などに記録しておいてください。忘れたパスワードを解除する方法はありません。
忘れた場合は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

パスワード設定時の起動

コンピューター起動時やセットアップユーティリティー起動時に以下のようにパスワードの入力を求められます。設定したパスワードを入力してください。

パスワードを入力してください[　　　　　]

※メール着信お知らせ機能（『活用編（アプリケーション）』「メール着信お知らせ機能を使う」）で着信チェックする際は、パスワードの入力なしでコンピューターが起動します。

パスワードの入力を3回間違えると

・電源が切れます。
・休止状態からのリジューム時には、休止状態に戻ります。

キーボードの操作

ここでは、そのキー自体に特殊な機能をもつキー（特殊キー）の使いかたについて説明します。

キー	機　能
Esc、ScrLk、Pause/Break	アプリケーションソフトによって機能が異なります。
NumLk	Shift を押しながら押して、テンキーを有効にするかどうかを切り替えます。有効にするとテンキーを使って数字を入力できます。 <NumLkインジケーター点灯時：テンキー有効時> そのまま押す → テンキーモード 7 8 9 − 4 5 6 ↵ 1 2 3 + ＊ 0 ・ / <NumLkインジケーター消灯時：テンキー無効時> Fn キーを押しながら押す → カーソルキーモード Home ↑ PgUp − ← → ↵ End ↓ PgDn + ＊ Ins Del /
CapsLock/英数	英数字入力になります。 Shift を押しながら押した場合は、CapsLock状態に入ります。もう一度押すと、解除されます。
Enter	コンピューターに対して、コマンドやデータが入力されます。
Shift	通常、このキーを押しながらアルファベットキーを押すと、大文字入力になります。また、このキーを押しながら数字キーか特殊キーを押すと、キートップの上部に印字されている記号が入力されます。
Ctrl、Alt	このキーを押しながら他のキーを押すと、特殊機能が有効になります。このキーを押しながら他の特殊キーを押した場合、アプリケーションソフトによって機能が異なります。

◀ CapsLock状態では、アルファベットキーを押すと、大文字入力になり、 Shift を押しながらアルファベットキーを押すと小文字入力になります。

困ったときは

本機を動かそうとして思ったとおりに動かないときの対処方法や再インストールのしかたなどについて説明しています。

もくじ

困ったときのQ&A

本機が思ったとおりに動かなかったり、おかしいな？と思ったら、このページをご覧ください。また、「オンラインマニュアル」の「困ったときのQ&A」もご覧ください。（→「オンラインマニュアルの見かた」36ページ）
その他、ソフトウェアによる原因も考えられますので、Windowsやアプリケーションソフトなど各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。どうしても原因がわからないときは、お買い上げになった販売店または当社ご相談窓口にご相談ください。

こんな画面が表示されたら

こんなときは	こうしてください
突然、画面が真っ暗になった	省電力機能が働きました。いずれかのキーを押すか、マウスを動かしてください。それでも復帰しない場合、電源ボタンを約１秒間押し、数秒待ってください。 （→21ページ）
突然、青い画面になってメッセージが表示された Windows 例外xxがxxxxで発生しました。 現在のアプリケーションを終了します。 *どれかキーを押すと、現在のアプリケーションが強制終了されます。 *Ctrl+Alt+Delキーをもう一度押すと、コンピューターが再起動します。 （以下略）	何らかのエラーが起こりました。 Ctrl + Alt + Delete を押してください。 コンピューターが再起動します。 ただし、アプリケーションでまだ保存していないデータは失われます。 データは、こまめに保存する習慣をつけましょう。
このようなメッセージが表示された このプログラムは不正な処理を行ったので強制終了されます。 終了しない場合は、プログラムの製造元に連絡してください。	[閉じる]をクリックしてください。 アプリケーションが強制的に終了されます。 まだ保存していないデータは失われます。 （このメッセージは、コンピューターがアプリケーションに対して出したものです。）

画面が動かなくなったら

アプリケーションを操作している場合に画面が動かなくなったら、次の手順に従って操作していたアプリケーションを強制終了してください。ただし、直前の作業内容は保存されません。

＜キーボードやマウスが動作する場合＞

① Ctrl + Alt + Delete を押します。
「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。
アプリケーションによっては、ウィンドウが表示されるまでに時間がかかることがあります。
30秒以上たっても表示されない場合、次ページの手順④へ進んでください。

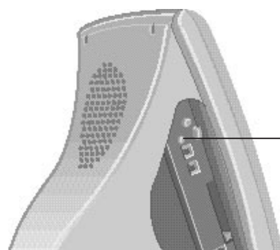
②アプリケーションの一覧から「応答なし」と表示されているアプリケーションをクリックし、[終了]をクリックします。

③終了の確認メッセージが表示された場合、[終了]をクリックします。
選んだアプリケーションが強制的に終了されます。終了されるまでに20〜30秒かかることがあります。

④30秒以上たっても「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されなかったり、強制終了できない場合は再度、Ctrl + Alt + Delete を押してください。

コンピューターが再起動します。
2〜3回、Ctrl + Alt + Delete を押しても再起動しない場合、リセットスイッチ（→下記）を押して電源を切り、再度、電源を入れてください。

<キーボードやマウスが動作しない場合>



先の細いもので、リセットスイッチを押してください。
（鉛筆など折れやすいものは使用しないでください。）

コンピューターの電源が強制的に切れます。
再度、電源を入れ直してください。

電源を入れたとき

こんなときは	ここをお調べください
起動できない	確認1 電源コードは、本体の電源端子および電源コンセントに正しく接続されていますか。 確認2 電源を切った状態でリセットスイッチを押してから、本機を再起動してみてください。 この場合、ハードディスクのエラーを検出するプログラム「Microsoft Scandisk」が自動的に動作する場合があります。画面に従って操作してください。 確認3 コンピューター本体の電源コードを外し、再度接続して起動させてみてください。

アプリケーションの誤動作を避けるために

・ハードディスクの空き領域が少なくなっていないか、確認しておきましょう。
（確認方法は→オンラインマニュアル「困ったときのQ&A」）
・多くのアプリケーションを開いている場合、不要なものは閉じましょう。
・クリックするときは、所定の枠からはみ出さないようにしましょう。

スキャンディスクが起動したら

アプリケーションの強制終了、または再起動した後に、青い画面になり「スキャンディスク」が起動することがあります。「スキャンディスク」は、Windowsやハードディスクの状態をチェックする機能です。もし、スキャンディスクにエラーが見つかった場合、メッセージに従って「修復する」を選んでください。

こんなときは		ここをお調べください
起動できない	確認4	ハードディスクにアクセス可能かどうか確認してください。 ＜確認方法＞ ①「プロダクトリカバリーCD-ROM1」をドライブにセットする。 ②コンピューターを再起動する。 ③画面右下に <F2> キー：セットアップユーティリティーの起動 <ESC>キー：起動するドライブの変更 と表示されたら、ESCを押す。 ④「2.DVDドライブ」を選んで Enterを押す。 ⑤「4.終了」を選ぶ。 ⑥A:¥>と表示されたらc:と入力し、Enterを押す。 ・C:¥>が表示された場合 Windowsを起動するために必要なファイルが壊れている可能性があります。本書の手順に従って再インストールを行うと、ハードディスクを工場出荷状態に戻すことができます。ただし、作成したデータなどは消えてしまいます。あらかじめご了承ください。 ・C:¥>が表示されない場合 お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
日付と時刻が正しく表示されない	確認1 確認2	セットアップユーティリティーで正しい日付/時刻を設定してください。(→37、38ページ) 日付/時刻の情報を保持しているクロックバッテリー(リチウム電池)が切れかかっているおそれがあります。 お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
パスワードを忘れた		お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
数字とメッセージが表示される		表示されている番号はエラーコードです。 「エラーコード一覧」(→50ページ)に従って確認してください。

操作中にこんなことがあったら

こんなときは		ここをお調べください
操作中に画面が動かなくなった		42ページの「画面が動かなくなったら」を参照して本機を再起動してください。
画面が真っ暗になった		省電力機能によって、自動的にディスプレイが消えることがあります。21ページを見て操作してください。
音声が出ない		音量を最小にしていたり、タスクバーの[アイコン]で「ボリュームコントロール」を「ミュート」にしていませんか。
オンラインマニュアルを表示できない	確認1 確認2	Acrobat® Readerをアンインストールしませんでしたか？ アンインストールした場合は、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]でc:¥util¥reader¥setup.exeを起動し、画面に従ってインストールしてください。 「C:¥util¥manual」に次のファイルがありますか？ ない場合は、プロダクトリカバリーCD2の「¥ja¥util¥manual」フォルダーからC:¥util¥manualにコピーしてください。 SUPPORT.PDF ：パソコン・サポートとつきあう方法 QA.PDF ：困ったときのQ&A MODEM.PDF ：内蔵モデムコマンド一覧

「休止状態」機能について

こんなときは	ここをお調べください
休止状態に入れない	以下の手順で「アドバンストパワーマネージメント」を入れ直してください。 ①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[システム]をダブルクリックする。 ②[デバイスマネージャ]をクリックし、「システムデバイス」の中の「アドバンストパワーマネージメントサポート」を選んで、[削除]をクリックする。 ③確認のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックして[はい]をクリックし、コンピューターを再起動する。 ④「コントロールパネル」の[ハードウエアの追加]をダブルクリックする。 ⑤「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面で[次へ]をクリックし、もう一度[次へ]をクリックする。 ⑥「はい」を選んで[次へ]をクリックする。 ⑦[次へ]をクリックする。 ⑧[詳細]をクリックして「アドバンストパワーマネージメントサポート」と表示されていることを確認して、[完了]をクリックする。 ⑨コンピューターを再起動する。

ディスプレイについて

こんなときは	ここをお調べください
画面が消えた	確認1 省電力機能によって、ディスプレイの電源がオフになることがあります。その場合、いずれかのキーを押すか、マウスを操作すると元に戻ります。 確認2 省電力機能によって、休止状態に入ることがあります。その場合、電源ボタンを押すと元に戻ります。
残像が残る	長時間同じ画面を表示すると、画像が画面に焼きつき、残像となることがあります。これは、異常ではありません。別の画面が現れてしばらくたつと、残像は消えます。
画面に緑、赤、青のドットが残る または正しい色が表示されないドットがある	カラー液晶ディスプレイの製造には精度の高い技術が要求されます。ちょっとした環境変化等で点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができますが、これらの画素が0.002%以下（有効画素が99.998%以上）のものは故障ではありません。あらかじめご了承ください。
ポインター（カーソル）が見えにくい	ポインターの動きに軌跡をつけることができます [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[マウス]-[動作]で「ポインタの軌跡」を設定してください。

ディスクの操作について

こんなときは	ここをお調べください
フロッピーディスクドライブ（外部FDD）にアクセスしない	確認1 ・フロッピーディスクドライブが正しく接続されているか確認してください。 ・フロッピーディスクは正しくセットされているか確認してください。 確認2 ・フロッピーディスクは初期化されているか確認してください。 ・ライトプロテクトタブが書き込み禁止の状態になっていないか確認してください。
フロッピーディスクが初期化できない	・デスクトップ上の「マイコンピュータ」から[3.5インチFD(D:)]を選んで[ファイル]→[フォーマット]をクリックした後、ディスクの容量やフォーマットの種類を確認してフォーマットしてください。 ・1.2 Mバイトのフロッピーディスクをフォーマットする場合、次の二通りのフォーマットができます。 <1.21 Mバイトのフロッピーディスクをフォーマットする場合> ①デスクトップの[スタート]→[プログラム]→[MS-DOSプロンプト]を順にクリックする。 ②次のように入力する。cd \windows\command Enter fmtusbfd -F:1.21 d: Enter <1.25 Mバイトのフロッピーディスクをフォーマットする場合> ①デスクトップの[スタート]→[プログラム]→[MS-DOSプロンプト]を順にクリックする。 ②次のように入力する。cd \windows\command Enter fmtusbfd -F:1.25 d: Enter 以降は、画面のメッセージに従って操作してください。
ハードディスクドライブにアクセスできない	原因が分からない場合は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
CDやDVDが取り出せない	コンピューターの電源が入っていますか?電源が入っていない状態でディスクを取り出すには、付属のイジェクトピンをエマージェンシーホールに差し込んで、トレイを引き出してください。 エマージェンシーホール
アクセスランプ（ディスクアイコン）が点灯しない。	ディスクは正しくトレイにセットされていますか？
CDやDVDの再生や読み出しができない。	ディスクが変形していたり、傷や汚れが付いていませんか？ CDやDVDが汚れている場合、15ページを見てクリーニングをしてください。

こんなときは	ここをお調べください
突然、MPEG画像が残った青い画面になった	DVD-ROMドライブから、MPEG画像の入ったディスクを取り出しませんでしたか？ ディスクをセットして Enter を押してください。
DVD-ROMドライブの振動が大きい	変形したディスクや、ラベルをはったディスクを使用していませんか？
MS-DOSモードでDVD-ROMドライブが使えない	MS-DOSモードでDVD-ROMドライブを使う場合、以下の手順でドライバーを組み込んでください。 *1* [スタート]-[Windowsの終了]を選ぶ。 *2*「MS-DOS モードで再起動する」を選び、[OK]を選ぶ。 *3* CONFIG.SYS ファイルを修正する。 cd \ Enter edit config.sys Enter *4* カーソルを以下の行に移動し、行頭の rem を削除する。 （rem を削除するとその項目が有効になります。） DEVICEHIGH=C:\WINDOWS\COMMAND\OAKCDROM.SYS /D:MSCD000 （この行がない場合は追加してください。） *5* Alt 、F を順に押して、S を押して保存し、Alt 、F を順に押して、X を押して終了する。 *6* 同様に AUTOEXEC.BAT ファイルを修正する。 edit autoexec.bat Enter *7* カーソルをMSCDEX.EXEのドライバーが記載されている行に移動し、行頭の rem を削除する。 （rem を削除するとその項目が有効になります。） LOADHIGH C:\WINDOWS\COMMAND\MSCDEX.EXE /D:MSCD000 /L:L （この行がない場合は追加してください。） *8* Alt 、F を順に押して、S を押して保存し、Alt 、F を順に押して、X を押して終了する。 *9* Alt + Ctrl + Del を押して、コンピューターを再起動する。

文字入力について

こんなときは	ここをお調べください
日本語が入力できない	タスクバー上に が表示されていますか？表示されていない場合は、日本語入力モードになっていません。 Alt + 半角／全角 で日本語入力モードにしてください。
アルファベットを小文字で入力したいのに大文字で表示される	キーボードのCaps Lockランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合、大文字入力モードになっています。解除するには、 Shift + Caps Lock を押します。

<table>
<tr><th>こんなときは</th><th>ここをお調べください</th></tr>
<tr><td>欧文特殊文字（ßàçïなど）や記号が入力できない</td><td>[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[文字コード表]を選んでください。文字コード表が表示されます。フォント名を欧文用フォントなどに指定して、入力したい文字を選んでください。</td></tr>
<tr><td>キーボード上の文字（記号）で入力できないキーがある</td><td>以下の文字はシフトJISコードを使って入力します。
<table>
<tr><td>文字</td><td>"『"</td><td>"¢"</td><td>"ヶ"</td><td>"』"</td><td>"＼"</td><td>"￤"</td><td>"£"</td><td>"々"</td><td>"¬"</td><td>"～"</td></tr>
<tr><td>シフトJISコード</td><td>8177</td><td>8191</td><td>8396</td><td>8178</td><td>815F</td><td>FA55</td><td>8192</td><td>8158</td><td>81CA</td><td>8160</td></tr>
</table>
タスクバー上に が表示されている状態（全角）でシフトJISコードの数字を入力し、（F5）を押してください。
また"＼"は"￥"、"￣"は"～"（半角の場合は"~"）と表示されます。</td></tr>
</table>

周辺機器について

こんなときは	ここをお調べください
USB機器が動作しない	確認1 • USBコネクターに確実に接続されているかを確認してください。 • USB機器に電源スイッチがある場合、電源が入っているか確認してください。 • 適切なドライバープログラムがインストールされているか確認してください。 確認2 周辺機器によってはUSBルートハブに接続しないと動作しないものがあります。（→29ページ）
USBルートハブに機器を接続した場合、休止状態からの復帰時にエラーになる	USBルートハブに接続した場合には、必ず29ページの操作をしてください。
プリンターが動かない	確認1 • ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 • プリンターの電源が入っているか確認してください。 • 適切なプリンタードライバーをインストールしたか確認してください。 確認2 周辺機器によってはUSBルートハブに接続しないと動作しないものがあります。（→29ページ）
マウスが使えない	確認1 マウスがUSBコネクターに正しく接続されているか確認してください。 確認2 付属品以外のUSBマウスを使用する場合、ドライバーのインストールが必要になることがあります。
割り込み要求（IRQ）、I/Oポートアドレス等、アドレスマップがわからない	「コントロールパネル」の[システム]アイコンをダブルクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックし、[コンピュータ]を選んで[プロパティ]をクリックしてください。

こんなときは	ここをお調べください
PCカードが使えない	確認1 カードが正しくセットされているか確認してください。 確認2 PC Card Standard規格に準拠したPCカードを使っていますか？ 確認3 適切なドライバープログラムがインストールされているか確認してください。また、インストール後は、必ずコンピューターを再起動してください。
使えるRAMモジュールがわからない	→32ページ
RAMモジュールが認識されない	RAMモジュールの挿入方向や接続を確認してください。

通信時にこんなことがあったら

こんなときは	ここをお調べください
接続できない	確認1 電話回線とモデムが正しく接続されているか確認してください。（→『活用編（アプリケーション）』の「電話回線に接続する」） 確認2 ・電話回線の種類は正しく設定されているか確認してください。 ・通信環境の設定を正しく行いましたか？ （→いずれも『活用編（アプリケーション）』の「プロバイダーHi-HOに加入し、通信の設定をする」）
メールの自動送受信ができない	上記「接続できない」場合の対処方法に従って、確認してください。
メールを自動送受信中、接続が切断される	回線を自動的に切断するように設定している可能性があります。（→『活用編（アプリケーション）』の「メールボタンを使って自動送受信する」）
メールの受信はできるが送信ができない	以下の手順で「TCP/IP」の入れ替えを行ってください。 ①「コントロールパネル」の[ネットワーク]をダブルクリックする。 ②「ネットワークの設定」画面で「TCP/IP」を選んで[削除]をクリックする。 ③「ネットワークの設定」画面で[追加]をクリックする。 ④「プロトコル」を選び[追加]をクリックする。 ⑤「Microsoft」の「TCP/IP」を選んで[OK]をクリックする。 ⑥「ネットワークの設定」画面で[OK]をクリックする。 ⑦再起動を促すメッセージが表示されたら[はい]をクリックする。

エラーコード一覧

ここでは、ハードウェアの不良が発生した場合など、起動時に表示されるエラーコードとその原因・対処について説明します。

エラーコード・メッセージ	原 因・対 処
0210 キーボード接続エラーです。	キーボードを接続し直してください。
0211 キーボードエラーです。	外部キーボードが動作していません。外部キーボードを取り外してください。
0251 システムCMOSのチェックサムが正しくありません。－デフォルト値が設定されました。	CMOSデータがアプリケーションによって壊されたか、変更されました。 確認1 セットアップユーティリティーをいったん起動して終了してみてください。 確認2 それでもエラーになる場合は、CMOSバックアップバッテリーが消耗している可能性がありますので、「ご相談窓口」にご相談ください。
0280 起動を3回失敗しました。-デフォルト値を使用して起動します。	電源を入れてからOSが起動するまでに、3回連続してシステムがシャットダウンされました。正しくOSを起動すれば表示されることはありません。

下記のエラーコードが表示された場合は、そのメッセージを記録して「ご相談窓口」にご相談ください。

エラーコード・メッセージ	原 因
0200 ハードディスクエラーです。	ハードディスクドライブまたはシステムボードの故障です。
0212 キーボードコントローラエラーです。	システムボードの故障です。
0213 キーボードがロックされています。－キースイッチのロックを解除して下さい。	ロックを解除してください。
0230 システムRAMエラー。オフセットアドレス：nnnn 0231 シャドウRAMエラー。オフセットアドレス：nnnn 0232 拡張RAMエラー。オフセットアドレス：nnnn	メモリーの故障です。
0250 システムのバッテリがありません。－バッテリを交換して、コンピュータを再起動して下さい。	CMOSバックアップバッテリーが消耗しています。 バッテリーの交換が必要です。
0260 システムタイマーエラーです。	システムボードの故障です。
0270 リアルタイムクロックエラーです。	システムボードの故障です。
02D0 システムキャッシュエラーです。－キャッシュは使用できません。	CPUの故障です。

下記のエラーコードが表示された場合は、そのメッセージを記録して「ご相談窓口」にご相談ください。

エラーコード・メッセージ	原 因
02F0 CPU ID	マルチプロセッサーのCPUソケット番号エラーです。
02F4 EISA CMOSは書き込み禁止です。	CMOSに書き込みができません。
02F5:DMAのテストが異常終了しました。	拡張DMA（ダイレクトメモリアクセス）に書き込みができません。
02F6:ソフトウェアNMIエラーです。	ソフトウェアNMIに書き込みができません。
02F7:フェールセーフタイマNMIエラーです。	フェールセーフタイマーが長すぎます。
アドレス競合	あるデバイスでアドレスが競合しています。
誤りビット:	メモリーテストでアドレス *nnnn* でエラーが検出されました。エラーコード230、231、232を参照してください。
システム設定値が正しくありません。	CMOSの問題です。
入出力デバイスのIRQが競合	IRQ競合エラーです。
Operating System not found	オペレーティングシステムが見つかりません。
パリティチェック1	システムバスにパリティーエラーが検出されました。エラーになったアドレスが画面に表示されます。アドレスがわからなかった場合は、????と表示されます。パリティーはバイナリーデータをチェックする手段です。パリティーエラーはデータが壊れたことを示します。
パリティチェック2	I/Oバスにパリティーエラーが検出されました。エラーになったアドレスが画面に表示されます。アドレスがわからなかった場合は、????と表示されます。

再インストールのしかた

ハードディスクの内容が壊れてしまった場合などには、もう一度ハードディスクを工場出荷状態に戻すことができます。

再インストールの準備

1 付属のプロダクトリカバリーCD-ROM（2枚）を準備する。

2 ハードディスクを圧縮している場合は、Windowsを起動して解除する。

3 プロダクトリカバリーCD-ROM1をDVD-ROMドライブにセットする。

4 Windowsを終了して操作を終わり、電源が切れたことを確認する。（→『セットアップ編』）

お願い

再インストールをすると、本機の購入後にインストールしたアプリケーションや作成したデータがすべて消えてしまいます。
必ず、バックアップをとっておいてください。

◀ Windowsを起動できない場合などで圧縮を解除できないときは、下記の手順4で「1.ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。」を選んでください。

再インストールする

1 コンピューターの電源を入れる。

2 画面中央に「Panasonic」ロゴが表示されているときに、ESC を押す。

3 「起動メニュー」から ↑ ↓ で「2.DVDドライブ」を選んで、Enter を押す。

4 <ハードディスクの内容をすべて工場出荷の状態にする場合>
[1.ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す]を選ぶ。

<ハードディスク(Cドライブ)を工場出荷の状態にする場合>
[2.Cドライブをフォーマットして、工場出荷状態に戻す]
または
[3.Cドライブをクイックフォーマットして工場出荷状態に戻す]を選ぶ。

<再インストールを中止する場合>
[4.終了]を選ぶ。

◀ パーティション設定も行います。（パーティションを工場出荷時から変更する場合、Cドライブは2Gバイト以上に設定してください。）

◀ パーティション設定は行いません。

◀ [3.Cドライブをクイックフォーマットして工場出荷状態に戻す。]を選んだ場合は、フォーマット時間が約10～15分短縮されます。

困ったときは

5 **確認の「[Y,N]？」が表示されたら Y を押す。**

ハードディスクのフォーマットを開始します。続いてハードディスクへのコピーが始まります。
（1時間程度かかります。）

DVD/CD-ROMドライブにプロダクトリカバリーCD-ROM 2を入れてください。 準備ができたら何かキーを押してください。

上記の画面が表示されたらDVD-ROMドライブからプロダクトリカバリーCD-ROM 1を取り出し、プロダクトリカバリーCD-ROM 2をセットしてください。
DVD-ROMドライブのアクセスランプが消えたのを確認した後に何かキーを押してください。
再インストールが終了すると以下の画面が表示されます。

ハードディスクを工場出荷状態に戻しました。 プロダクトリカバリーCD-ROM 2を取り出し、 システムを再起動して、Windowsをセットアップしてください。

6 **プロダクトリカバリーCD-ROM2をDVD-ROMドライブから取り出す。**

7 **Ctrl ＋ Alt ＋ Delete でコンピューターを再起動する。**
画面に従って、Windows 98のセットアップを行う。
（→『セットアップ編』）

ハードディスクの「C:\UTIL」フォルダーの各種ドライバーやパナソニック製のソフトウェアを個々に復元したいときは：

「プロダクトリカバリーCD-ROM 2」の「\JA\UTIL」フォルダーにあります。ただし、CD-ROM内のそれらのファイルを使用するときには、更新が必要な場合があります。パナソニックPCのホームページに新しい情報が掲載されている場合がありますので、そちらをご覧ください。

Windows 98関連ファイルのインストール

工場出荷時にはインストールされていない以下のフォルダーのファイルをインストールしたい場合は、下記の手順に従ってインストールしてください。

\add-ons　　\tools　　\drivers

インストールするには、ハードディスクのCドライブに十分な空き容量が必要です。

1. **MS-DOSモードでDVD-ROMドライブを使えるようにドライバーを組み込む。****（→47ページ）**
2. **コンピューターの電源を入れる。**
3. **「Panasonic」ロゴの表示が消えたらすぐに Ctrl を押し、メニュー画面が表示されたら指を離す。**
   ◀ **Windowsのデスクトップ画面が表示された場合、再起動してください。**
4. **「Command prompt only」を選ぶ。**
5. **プロダクトリカバリーCD-ROM2をセットする。**
6. **「C:\>」に続けて以下のように入力し、画面の指示に従って操作してください。**

   L:\JA\ADDFILE Enter

   ◀ **「L:」はDVD-ROMドライブを指定するドライブ文字です。コンピューターの使用状況に合わせて変更してください。**

これにより、「C:\util\win98add」フォルダーにファイルがインストールされます。

もくじ

ソフトウェア使用許諾書

この製品にインストールされているソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾書」の内容を承諾していただくことがご使用の条件になっています。

第1条　権利
お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROM、マニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第2条　第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第3条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第4条　使用コンピューター
本ソフトウェアは、コンピューター1台に対しての使用とし、複数台のコンピューターで使用することはできません。

第5条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店等は責任を負いません。

第6条　アフターサービス
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせください。お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第7条　免責
本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第6条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店等はその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

第8条　その他
上記第6条のアフターサービスには、ご愛用者登録が必要です。

仕様

機種名			CF-E1
CPU			Intel® Celeron™ プロセッサー 400 MHz
メモリー	メインRAM*1		64 Mバイト(SDRAM,66 MHz対応)(最大192 Mバイト)
	キャッシュ	L1	64 Kバイト
		L2	128 K バイト
	ROM		512 Kバイト
	ビデオメモリー		4 Mバイト
LCD	タイプ		15.0型TFTカラー[ビジュアルブライト（ウィンドウごとに設定可能）],XGA対応
	グラフィック表示		解像度:1024×768ピクセル 色数:1600万色*2
ハードディスクドライブ			6.4 Gバイト*3
DVD-ROMドライブ			DVD-ROMドライブ/最大6倍速、CD-ROMドライブ/最大32倍速
入力装置	キーボード		USBキーボード総数87キー
	ポインティングデバイス		USBスクロールマウス、スクロールボタン付き
インターフェース	音声	マイク入力	ミニジャックM3(コンデンサーマイク使用のこと)
		ヘッドホン出力	ミニジャックM3
		光出力	光デジタル音声出力端子（EIAJ角型ジャック）
	USBコネクター		4ピン　Universal Serial Bus×4（空き：2）
	モデムコネクター		本体内蔵 データ: 56 kbps(V.90 & K56flex 両対応) FAX: 14.4 kbps
	i.LINK端子		IEEE1394.a準拠 4ピン×2
カードスロット	PCカード専用		タイプIまたはタイプII×1スロット
			CardBusサポート (3.3 V: 500 mA, 5 V: 400 mA)
	RAMモジュール専用		1スロット
オーディオ機能			PCM音源（ウィンドウズサウンドシステム互換) ステレオスピーカー×2/モノラルマイク搭載
時計機能			クロックバッテリーバックアップ 月差±60秒
電源	入力		AC100 V*4, 50 Hz/60 Hz
	消費電力*5		約70 W
外形寸法(幅×奥行×高さ*6)			約389 mm×275 mm×388 mm
質量			約8.6 kg
使用環境条件			温度:5 ℃〜35 ℃ 湿度:30 %RH〜80 %RH(結露なきこと)
導入済みソフトウェア			Microsoft® Windows® 98 Second Edition, Acrobat® Reader, インターネットスターター, ウェブナビゲーター,メール着信お知らせ機能,イラストメール,似顔絵メール,ボイスオンメール,ムービーオンメール,イメージブラウザー, DVキャプチャー, DVDドリームプレーヤー,筆ぐるめ,ドライバー等

*1 シンクロナスDRAMおよびセルフリフレッシュのモジュールに限り使用可能です。

*2 FRC機能を使用して約1600万色表示を実現しています。

*3 1Gバイト=10^9バイト表記です。

*4 電源コードは、AC100 V専用です。

*5 電源オフ時の消費電力は約1.2 Wです。

*6 「高さ」はスタンド使用時です。

別売り商品

別売り商品の名称と品番は最新のカタログでご確認ください。仕様改善のため、予告なく変更することがあります。

フロッピーディスクドライブ	RAMモジュール
品番:CF-VFDU03J	64 MB **品番:**CF-BAS0064J 128 MB **品番:**CF-BAF0128J*

*1999**年**11**月以降の発売です。**

さくいん

さくいん

西暦2000年問題について
本パーソナルコンピューターのハードウェア（BIOSなどのファームウェアを含む）は、西暦2000年問題についての動作確認済みです。
西暦2000年問題については、下記のインターネット上の情報などもご覧ください。

- **松下電器産業株式会社のパソコンの西暦2000年問題情報**
  http://www.pcc.panasonic.co.jp/y2000/（1999年9月現在）
- **マイクロソフト社の西暦2000年問題情報**
  http://www.microsoft.com/japan/year2k/（1999年9月現在）

- **取扱説明書の内容に関しましては、事前予告なしに変更することがあります。**
- **取扱説明書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。**
- **落丁、乱丁はお取り替えします。**
- **取扱説明書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。**
- **取扱説明書のイラスト・画面と実際は一部異なる場合があります。**

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- **本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。**
- **漏洩電流について、この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。**

- Microsoftとそのロゴ、MS、MS-DOS、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標です。
- AcrobatとPremiereは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。
- Celeronは、米国インテル社の商標です。
- 「Dolby」及び「ドルビー」はドルビーラボラトリーズの商標です。
- その他の製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- ●修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ！
- ●その他のお問い合わせは、「テクニカルサポートセンター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき

『困ったときのQ&A』に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、パーソナルコンピューターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理、および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品、および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

・Will PCのホームページ*では製品紹介、FAQなど情報掲載やご購入ユーザー様のご愛用者登録を行っております。
*[お気に入り]→[パナソニックお勧めのサイト]→[パナソニックPCのホームページ]にリンクされています。

パナソニックパソコン
テクニカルサポートセンター

 0120-873029（パナソニック）

フリーダイヤル（料金無料）
365日／受付9時～20時

0899

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ 0570-087-087（パナ パナ）



●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西10条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗町589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎(0177)39-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場18地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市泉区市名坂字清水端50-2	☎(022)375-2512
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2551
群馬	高崎市萩原町沖中206-13	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町300-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目3-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(0552)22-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目3-14	☎(025)286-7725

中部地区

石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目30	☎(076)294-2683
富山	富山市宇島1293	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7800-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島795	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町3-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保23	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目22	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀	守山市勝部町8丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島400-1	☎(0734)75-1311
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-8	☎(078)272-6645

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-10	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市荻杼町418	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音3丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-28	☎(0839)86-4050

四国地区

香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや103	☎(0886)98-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(0888)66-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

福岡	春日市春日公園3丁目43	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄398-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納333-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町13-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0999

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

Panasonic パーソナルコンピューター CF-E1 取扱説明書『活用編（本体）』



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

愛情点検　長年ご使用のコンピューターの点検を！

こんな症状はありませんか	・異常な音やにおいがする ・水や異物が入った	▶	このような症状の時は故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年　月　日	品 番	CF-E1
	販売店名	☎(　　)　－	お近くの当社 ご相談窓口	☎(　　)　－

松下電器産業株式会社　パーソナルコンピュータ事業部

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目１０番１２号

FJ1099-0
DFQM5325ZA